



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成26年9月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成26年6月	平成26年9月	前回調査比
茨城県	46.4	47.0	+0.6
県北地域	43.4	45.0	+1.6
県央地域	43.9	46.2	+2.3
鹿行地域	51.3	50.4	△0.9
県南地域	49.5	51.4	+1.9
県西地域	44.2	42.4	△1.8

《景気の先行き判断DI》

	平成26年6月	平成26年9月	前回調査比
茨城県	52.7	47.1	△5.6
県北地域	47.8	45.0	△2.8
県央地域	56.1	47.0	△9.1
鹿行地域	53.9	51.3	△2.6
県南地域	56.0	50.0	△6.0
県西地域	50.0	42.4	△7.6

平成26年10月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課庶務・企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

※平成26年9月1日現在

地域	市町村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体系数】

業種名	具体例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	37	36	185
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	18	19	91
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成26年9月調査の調査期間は、平成26年9月1日から平成26年9月30日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気の下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは47.0となった。平成26年6月の調査（以下、「前回調査」という。）より0.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

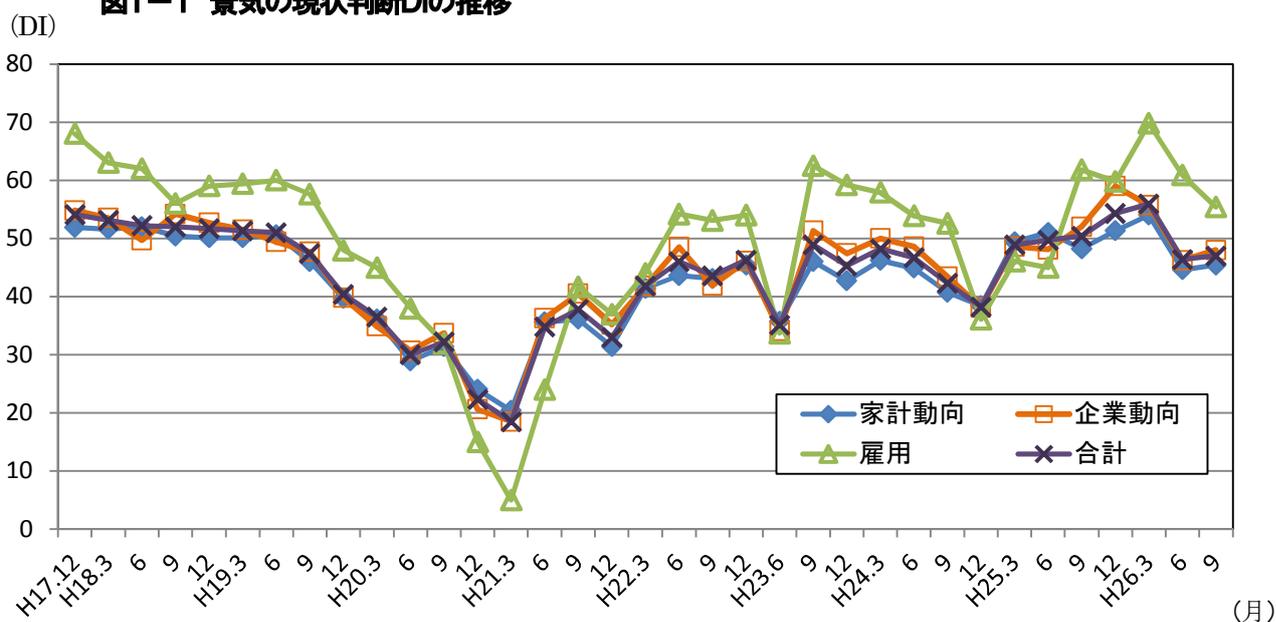
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成25年 9月	平成25年 12月	平成26年 3月	平成26年 6月	平成26年 9月
合計		50.4	54.3	55.9	46.4	47.0
家計動向関連		48.2	51.3	54.0	44.4	45.4
小売関連		46.7	55.0	63.4	43.9	46.3
飲食関連		46.3	42.5	36.8	46.4	38.1
サービス関連		49.3	49.3	49.6	42.7	45.1
住宅関連		55.6	58.3	50.0	58.3	59.4
企業動向関連		52.0	59.0	55.7	46.6	48.0
農林水産業		54.2	50.0	53.6	57.1	42.9
製造業		52.2	56.1	54.4	47.4	45.7
非製造業		51.4	64.8	57.8	43.2	52.1
雇用関連		61.8	59.8	69.8	60.9	55.4

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	1.4%	21.3%	59.6%	12.6%	5.1%
平成25年12月	3.6%	32.1%	46.6%	13.4%	4.3%
平成26年 3月	5.9%	34.4%	41.1%	14.4%	4.1%
平成26年 6月	2.1%	23.8%	39.9%	26.2%	8.0%
平成26年 9月	2.5%	18.3%	50.4%	22.5%	6.3%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは47.1となった。前回調査より5.6ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

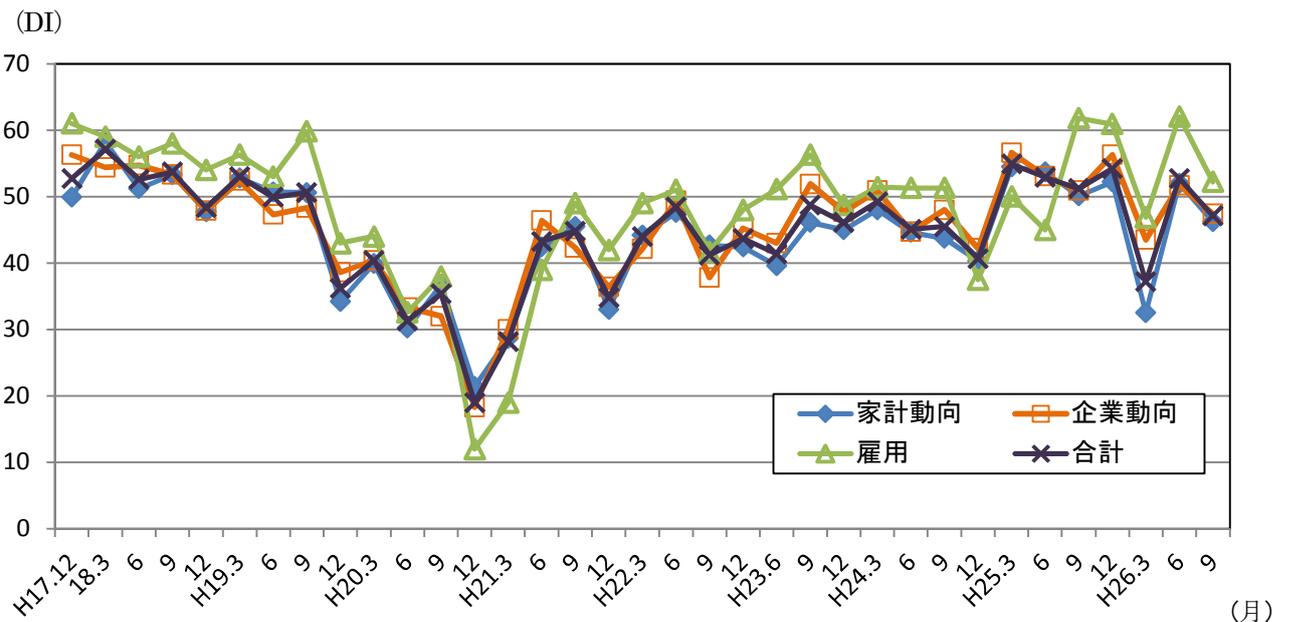
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		51.2	54.2	37.1	52.7	47.1
家計動向関連		50.1	52.2	32.4	52.1	46.2
	小売関連	50.7	56.8	30.8	53.9	50.7
	飲食関連	46.3	42.5	22.4	51.2	44.0
	サービス関連	49.7	50.3	36.4	50.0	42.2
	住宅関連	58.3	52.8	37.5	58.3	53.1
企業動向関連		50.9	56.3	43.5	51.4	47.4
	農林水産業	45.8	50.0	46.4	42.9	39.3
	製造業	50.0	53.9	43.9	54.2	46.7
	非製造業	52.8	60.9	42.2	49.2	50.0
雇用関連		61.8	60.9	46.9	62.0	52.2

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	1.8%	28.9%	46.6%	17.7%	5.1%
平成25年 12月	3.2%	32.5%	44.8%	16.6%	2.9%
平成26年 3月	0.7%	13.3%	32.6%	40.4%	13.0%
平成26年 6月	2.4%	26.9%	52.1%	16.1%	2.4%
平成26年 9月	1.8%	15.8%	56.0%	21.8%	4.6%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは45.0となった。前回調査より1.6ポイント上昇したが、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		47.7	56.4	54.6	43.4	45.0
家計動向関連		42.4	50.7	53.2	40.7	44.5
企業動向関連		55.3	67.6	56.9	45.8	44.7
雇用関連		58.3	56.3	55.0	56.3	50.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	1.8%	18.2%	58.2%	12.7%	9.1%
平成25年12月	7.3%	30.9%	45.5%	12.7%	3.6%
平成26年 3月	5.6%	37.0%	35.2%	14.8%	7.4%
平成26年 6月	0.0%	19.3%	45.6%	24.6%	10.5%
平成26年 9月	0.0%	14.5%	60.0%	16.4%	9.1%

② 県央地域

景気の現状判断DIは46.2となった。前回調査より2.3ポイント上昇したが、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		52.9	49.6	56.5	43.9	46.2
家計動向関連		51.9	50.7	56.1	39.2	43.4
企業動向関連		51.5	46.9	51.6	46.7	46.9
雇用関連		68.8	50.0	75.0	70.0	65.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	1.7%	23.3%	61.7%	11.7%	1.7%
平成25年12月	0.0%	26.3%	50.9%	17.5%	5.3%
平成26年 3月	9.3%	35.2%	35.2%	13.0%	7.4%
平成26年 6月	1.8%	21.1%	35.1%	35.1%	7.0%
平成26年 9月	3.4%	18.6%	44.1%	27.1%	6.8%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは50.4となった。前回調査より0.9ポイント低下したものの、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		46.9	57.7	57.0	51.3	50.4
家計動向関連		45.9	55.0	54.9	47.8	45.7
企業動向関連		46.4	63.3	57.8	52.6	54.2
雇用関連		55.0	60.0	70.0	70.0	70.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	0.0%	10.7%	71.4%	12.5%	5.4%
平成25年 12月	3.6%	30.9%	58.2%	7.3%	0.0%
平成26年 3月	3.5%	38.6%	40.4%	17.5%	0.0%
平成26年 6月	3.4%	31.0%	37.9%	22.4%	5.2%
平成26年 9月	1.7%	20.7%	56.9%	19.0%	1.7%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは51.4となった。前回調査より1.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		53.9	60.1	55.9	49.5	51.4
家計動向関連		53.3	56.5	55.4	52.3	50.8
企業動向関連		52.8	66.2	53.3	42.6	51.5
雇用関連		66.7	62.5	68.8	56.3	56.3

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	3.9%	27.5%	52.9%	11.8%	3.9%
平成25年 12月	5.8%	42.3%	40.4%	9.6%	1.9%
平成26年 3月	6.4%	25.5%	55.3%	10.6%	2.1%
平成26年 6月	3.7%	27.8%	40.7%	18.5%	9.3%
平成26年 9月	7.5%	24.5%	39.6%	22.6%	5.7%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは42.4となった。前回調査より1.8ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

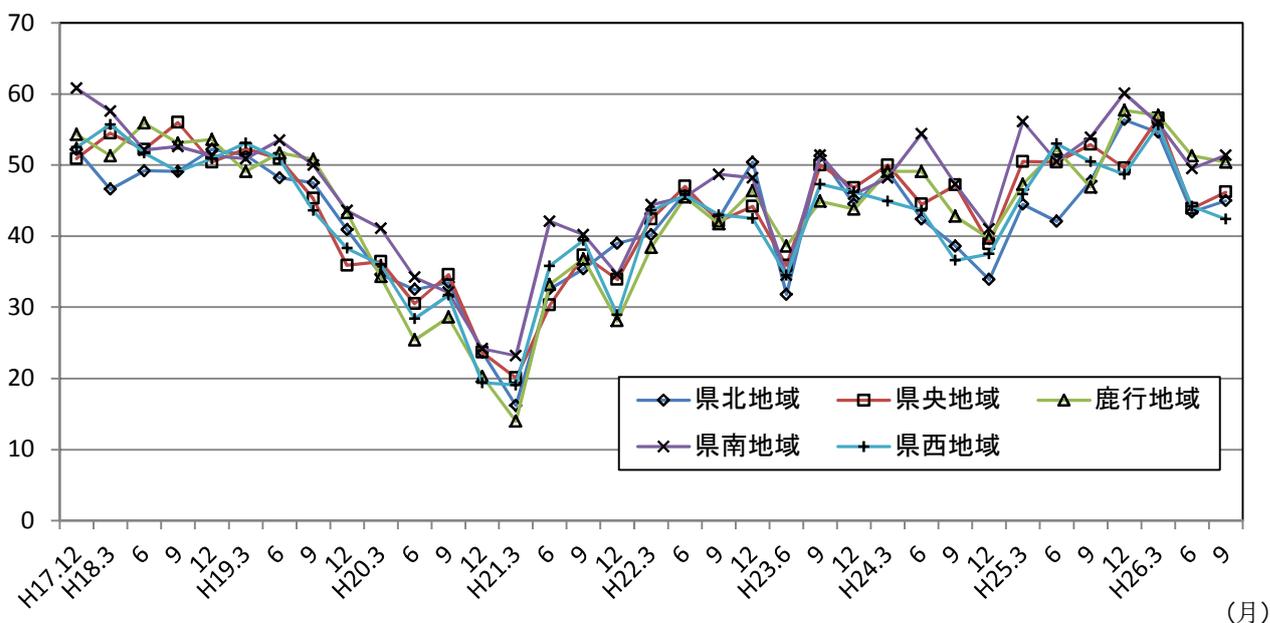
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		50.5	48.7	55.6	44.2	42.4
家計動向関連		47.7	44.3	50.7	43.1	43.1
企業動向関連		52.6	51.4	57.9	44.7	43.1
雇用関連		62.5	70.0	80.0	50.0	35.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	0.0%	27.3%	52.7%	14.5%	5.5%
平成25年 12月	1.7%	31.0%	37.9%	19.0%	10.3%
平成26年 3月	5.2%	34.5%	41.4%	15.5%	3.4%
平成26年 6月	1.7%	20.0%	40.0%	30.0%	8.3%
平成26年 9月	0.0%	13.6%	50.8%	27.1%	8.5%

(DI) 図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは45.0となった。前回調査より2.8ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		50.0	50.9	38.9	47.8	45.0
	家計動向関連	46.2	45.6	31.5	46.4	45.3
	企業動向関連	55.3	58.8	51.4	48.6	43.4
	雇用関連	58.3	62.5	40.0	56.3	50.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	1.8%	27.3%	49.1%	12.7%	9.1%
平成25年12月	1.8%	36.4%	30.9%	25.5%	5.5%
平成26年 3月	3.7%	13.0%	37.0%	27.8%	18.5%
平成26年 6月	0.0%	21.1%	54.4%	19.3%	5.3%
平成26年 9月	1.8%	10.9%	61.8%	16.4%	9.1%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは47.0となった。前回調査より9.1ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		50.8	54.8	38.9	56.1	47.0
	家計動向関連	51.9	56.3	33.3	55.4	45.4
	企業動向関連	47.1	51.6	46.9	55.0	48.4
	雇用関連	56.3	55.0	50.0	65.0	55.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	1.7%	23.3%	56.7%	13.3%	5.0%
平成25年12月	1.8%	28.1%	57.9%	12.3%	0.0%
平成26年 3月	0.0%	20.4%	22.2%	50.0%	7.4%
平成26年 6月	3.5%	31.6%	50.9%	14.0%	0.0%
平成26年 9月	3.4%	11.9%	57.6%	23.7%	3.4%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.3となった。前回調査より2.6ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		51.3	55.5	34.6	53.9	51.3
	家計動向関連	48.6	54.3	31.9	55.1	50.0
	企業動向関連	55.4	56.7	35.9	50.0	52.8
	雇用関連	60.0	60.0	50.0	60.0	55.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	0.0%	32.1%	44.6%	19.6%	3.6%
平成25年12月	3.6%	36.4%	40.0%	18.2%	1.8%
平成26年 3月	0.0%	8.8%	35.1%	42.1%	14.0%
平成26年 6月	5.2%	25.9%	48.3%	20.7%	0.0%
平成26年 9月	0.0%	25.9%	53.4%	20.7%	0.0%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは、前回調査より6.0ポイント低下し、横ばいを表す50となった。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		50.5	55.3	37.2	56.0	50.0
	家計動向関連	51.7	54.0	35.7	56.8	48.4
	企業動向関連	47.2	58.8	35.0	54.4	50.0
	雇用関連	58.3	50.0	56.3	56.3	62.5

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	2.0%	33.3%	33.3%	27.5%	3.9%
平成25年12月	1.9%	34.6%	48.1%	13.5%	1.9%
平成26年 3月	0.0%	12.8%	31.9%	46.8%	8.5%
平成26年 6月	1.9%	31.5%	55.6%	11.1%	0.0%
平成26年 9月	3.8%	18.9%	52.8%	22.6%	1.9%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは42.4となった。前回調査より7.6ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

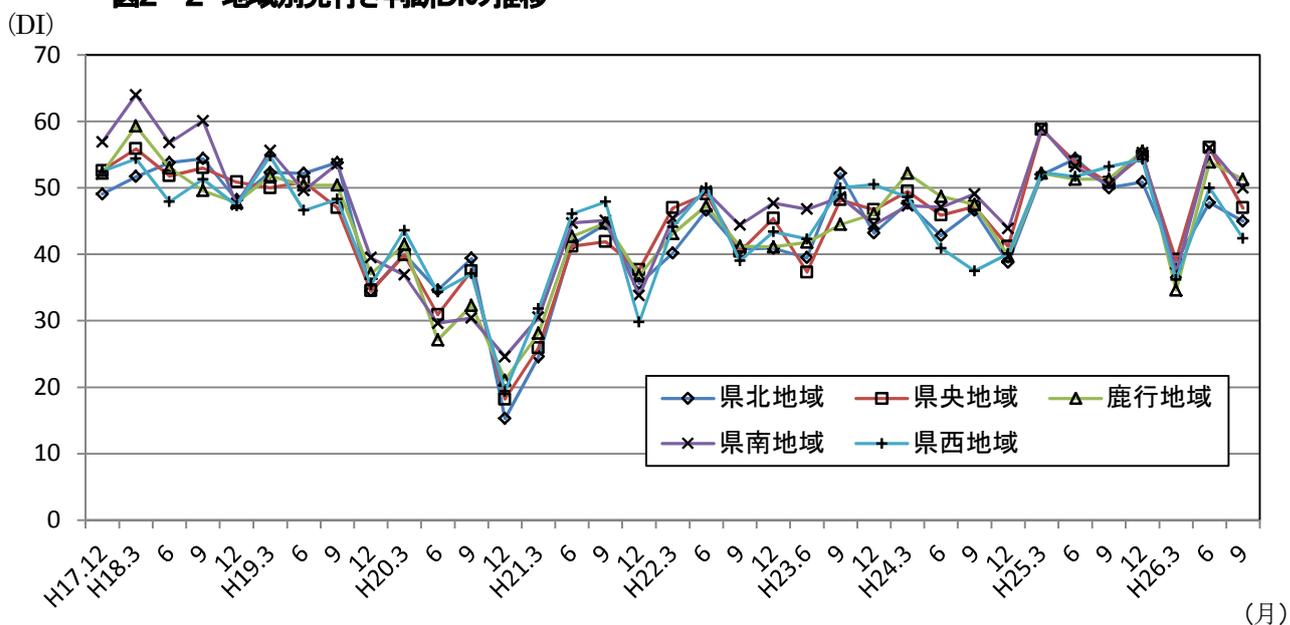
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年	平成26年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		53.2	54.3	36.2	50.0	42.4
家計動向関連		52.3	50.7	30.1	47.2	42.4
企業動向関連		50.0	55.6	46.1	50.0	43.1
雇用関連		75.0	75.0	40.0	70.0	40.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 9月	3.6%	29.1%	47.3%	16.4%	3.6%
平成25年 12月	6.9%	27.6%	46.6%	13.8%	5.2%
平成26年 3月	0.0%	12.1%	36.2%	36.2%	15.5%
平成26年 6月	1.7%	25.0%	51.7%	15.0%	6.7%
平成26年 9月	0.0%	11.9%	54.2%	25.4%	8.5%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	284 人	94.7%
県北地域	60 人	55 人	91.7%
県中央地域	60 人	59 人	98.3%
鹿行地域	60 人	58 人	96.7%
県南地域	60 人	53 人	88.3%
県西地域	60 人	59 人	98.3%

Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	スーパー	来客数、売上げが伸びている。
		スーパー	客単価の上昇が見られる。買い上げする点数(品数)は減っているが、単価が高くても、価格と商品価値に納得してもらえれば買っていただけることがわかる。チラシ等も、商品の品質に重点を置いたチラシが多くなっている。
		小売業(時計)	景気がどうのこうのなどの話をする人が少ない。
		中国料理店	今月は敬老の日(連休)が忙しかった。前年と比べると、「敬老の日だから、みんなで食事に来た。」と言うお客様が今年は多い。御家族で外食する方が増えているので、景気がやや良くなっているのかなと思います。
		ドライブイン	3か月前(6月)の昨年対比よりも、今期(8月)は税抜きで3%上回った。
		ゴルフ場	消費税増税後、値段を上げた反動が4・5・6月に感じられたが、7・8月は前年よりも客足・売上げが少々上がった。
		ボウリング場	前年に対して、この2か月間売上げが良くなってきている。
企業	製造業(電気機械器具)	上期前半、作業量が少なかったが、後半、若干それを上回った。(但しトータルでは予算未達)	
変わらない	家計	コンビニエンスストア	増税への慣れが出ており、落ち込みも落ち着いてきていると思われれます。
		自動車販売店	マスコミや政府が言うほど、景気が良くなっていると実感できないのが現状で、購買意欲も高くなっているとは思えない。
		小売業(弁当・惣菜店)	地元大企業の影響により、年当初の落ち込みがまだ続いている感じです。
		小売業(水産物)	お客様の来店人数は増加傾向にあるが、客単価が思わしくない。
		スナック	みんなが堅実になっているから、あまりお金を使わない気がする。
		食堂	個人経営の仕事は皆様大変です。昨年の同月を比較すると半分です。大手に皆まわっている。また、コンビニでラーメンを買ったり、おにぎりを買ったりして、弁当はなかなか売れないそうです。散財するのは大手の店か。仕事が無い方が多い。大工さんたちは大変です。
		観光型ホテル	前年同期と比較して、宿泊・日帰りの予約、ともにほぼ同様な状況である。
		旅行代理店	前年同期と比較して、受注件数、受注額ともほぼ変わらない(3か月前と同状況)。
		タクシー運転手	乗車されるお客様の話を聞いても、現状維持が精一杯だと思われれます。
		タクシー運転手	今年4月からの消費税増税の影響で、最近の経済統計ではその反動が出てきて、企業の設備投資や、一般消費の減少が見られるということだ。私の勤務する県北・中央地区では、更にタクシー料金の値上げも実施されたが、景気はこれといった変化もなく、低いレベルを維持して変わらなかった。
		レジャー施設	消費税率引き上げ後から、一般的な買い控えが見られる。
		ゴルフ場	7月1日時点の予約動向は、前年比7月-2ポイント、8月+3ポイント、9月+5ポイント。景気動向は緩やかに回復しているが、基調に変化はなく変わらない。前年比予約動向は、4~6月が100、7~9月は105でやや回復している。
		住宅販売会社	来場者数は持ち直しているが、いざ契約、となると判断に迷うケースが多い。
企業	林業関係者	下落したようなことはないが、多少の変動はある。良くも悪くもないような気がする。周りの状況も大きな変化なし。	
	水産業関係者	変化する起因が感じられず。	
	製造業(電気機械器具)	受注が少しずつ増えてきている。利益も同様に徐々に伸びてきているが、従業員の給料にまでは反映されていないと思われる。	
	製造業(電気機械器具)	液晶関連、自動車関連、鉄道関連は堅調である。原子力関連が少し増えてきた。発電所や研究所の作業が多くなった。	
	製造業(電気機械器具)	変化を感じられない。	
	製造業(電気機械器具)	3か月前と生産台数の変化はない。	
	製造業(輸送用機械器具)	国内自動車販売は、軽自動車・ハイブリッド車を中心に消費税の影響が軽微と予想していたが、7月以降の落ち込みが激しく厳しい状況になっている。海外での日本車販売状況は、北米は依然好調であるが、中国では苦戦を強いられている。しかし、全体では計画を上回る見通し。ただし、部品は地産地消に変化はなく、更に加速すると想定される。	
製造業(精密機器)	景気は悪くなっていると思います。量産が減っていますので。しかし、開発の仕事が増えているので、横ばいの回答としました。		

変 わ ら な い	企業	建設業	年度後半に向けて動きがある時期であるが、今年は動きが少ないように思われるので、景気は変わらない。
		金融業	日立製作所グループと三菱重工グループとの一部統合以来、下請業者への受注見通しが不透明な状況が続いている。
		不動産業	来場、成約とも厳しい状態。消費税増税に伴う駆け込み需要の反動から回復していない。
		情報通信業（情報サービス業）	商談の数は増えてきているが、価格競争が激しく、景気が良くなっているとは思えない。
		運輸附帯サービス業	上期（4～9月）は作業量の確保ができていた。
雇 用	求人広告	決して良いというわけではないが、消費税が上がり、もっと仕事が減少すると予想していた中でそこまでの落ち込みは感じられず、業種によっては忙しいという声も入っている。	
	公共職業安定所	3か月前と同様、求人(人を求めている)は増加傾向にあり、逆に求職者(仕事を求めている人)は対前年同月比で減少している状況である。	
	学校就業関係者	職業訓練受講者（求職希望者）の応募状況に変化なし。	
	求人開拓員	建設業・介護職・看護職での募集が相変わらず多い。県北での本業である製造業では派遣・委託での募集があるが、景気上昇での募集ではないようで、まだまだの様子である。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	ガソリンを含めた諸物価の値上がり、消費マインドの低下を招いている。安価な商品を購入する傾向。生活防衛の感があります。
		衣料品販売店	増税（消費税）の影響がある。
		小売業（酒類）	例年なら、6月頃より若干景気の回復あったが、今年は悪くなっているように感じる。
		レストラン	人が歩いていない（他店の話等から）。
		観光型ホテル	話の内容が、景気の良いものではない。
		ゴルフ場	来場者数、売上げ、共に数字が落ちている。
	企業	製造業（電気機械器具）	材料費の高騰により、利幅が少なくなった。
製造業（電気機械器具）	受注が減ってきている。		
製造業（一般機械器具）	食品値上げやガソリン価格の高止まり、夏季の天候不順等により、消費マインドが冷え込んでいると思う。		
悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	大企業人員削減があり、人口流出が多く客数の影響が見られる店舗が出ている。
		居酒屋	来店客が少なく、宴会がない。
		タクシー運転手	売り上げが減っている。
		クリーニング店	客数が減少している。
	企業	運輸業	住宅資材等の輸送が落ち込んでいる。

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	自動車販売店	新車の販売台数が久しぶりに計画を達成し、店頭来店数が多くなった。
	企業	製造業(金属製品)	増税の影響から回復してきたのが2か月程前。現在は適正な仕事量は確保できている。
やや良くなっている	家計	百貨店、総合スーパー	増税前の駆け込みで買いだめした消耗品が底をつきはじめ、購入し始めている。そのような商品群には動きが出始めている。
		都市型ホテル	宿泊稼働も前年対比でプラスの傾向にある。
		観光型ホテル	若干ではあるが、集客状況が良くなってきている。
		レジャー施設	夏の入場者も、ここ10年では一番の入場者数を記録した。また、物販の売上も順調である。
		建築設計事務所	求人しても応募者がいない。全体的に人手不足のようだ。仕事も多いみたいで「暇だ」という話が聞こえない。
	企業	製造業(食料品)	7・8月と売上げが微増ではあるが、昨年対比で伸びており、全体的に増加傾向にある。
		不動産業	お客様の来客数も多くなり、以前より家賃の単価も上がった傾向があります。
		サービス業(コンサルタント業)	仕事の受注が増えている。
	雇用	人材派遣業	仕事が忙しく、新しい人材の募集をしている企業が多い。
		公共職業安定所	有効求人倍率は、6月に比べ上昇しているが、これは例年見られる傾向となっている。新規求人については、前年同月1.0ポイント減少しており、新規求職者は前年同月8.3ポイント減少。有効求人倍率の上昇の要因として、求職者数の減少が目立つ。
学校就業関係者		企業からの求人が昨年度より増えている。1人で数企業の内々定の連絡をいただいている。企業の人事担当者が、今の時期になっても求人の相談に訪れる。	
変わらない	家計	商店街代表者	消費税増税の駆け込み需要の反動で落ち込みがあったが、いまだ回復していない。
		スーパー	消費税増税後からの消費に対しての厳しさはまだ続いている。食品価格の値上げがあるものの、特売などの攻勢は強い。
		スーパー	売上前年比が、3か月前と変わらず厳しい状況。安価の商品にしか手を出さない様子。
		スーパー	消費税増税以降、服装・装飾品の売上げが前年割れとなっている。
		コンビニエンスストア	3か月前あたりから、消費税増税の意識が少し残っており、会話の中に節約意識の内容がうかがえる。
		家電販売店	売上げが変わらない。
		農産物直売所	ギフト商品の売れ筋の価格帯が変わらない。飲食は、ランチ・ディナーとも同じように入っている。
		レストラン	昨年との比較の中で大きく変わっていない。
		レストラン	消費税増税に伴い、利用が減少していた時期(4～6月)はあったが、7月頃から少し回復してきた。その状況が今も続いている。
		レストラン	企業の会合でも、予算面はほぼ前回同様が多く、経費を抑えて行っているように感じます。
		割烹料理店	場所柄、農家のお家様が多く、3か月前というと田植えの時期、現在は稲刈りの時期と、農家の方がお昼を食べに足を運んで来ています。
		ゴルフ場	天候不順の影響からか、大洗は夏涼しいというイメージが変わってきているようだ。また、原発事故の風評等がまだ続いているように思える。
		ボウリング場	5月は消費税増税などにより、当店や他店、イベント会場などでの客の減少や買い控えが感じられたが、6月以降はそれがあまりなく、土日祝日や給料日後などに、しかるべき所が混雑していて、お客様の動向が予測しやすかった。
		スパ・銭湯	冷夏の予想から反転して暑い夏になったことに加え、ひたちなか市記念事業でロックインフェスティバルが4日間開催されたことや夏期休暇が長かったことから、8月は順調に県内外からの集客が図れたが、例年になく秋の気配が早く来過ぎてしまい、9月が心配される。
		レジャー施設	3か月前には、ある程度景気回復の兆しが見えてきていたが、現在はそれ以上でもそれ以下でもない。
		理・美容店	理由としては、わかりませんがガソリンなどエネルギー政策などに明るい要素がありません
		住宅販売会社	特に顕著な変化は見られない。

変わらない	企業	製造業（印刷・同関連業）	受注量が減少している。
		製造業（窯業・土石製品）	受注が伸びていない。
		製造業（一般機械器具）	取引先すべてが良くありません。下がらなければ良いと言えます。
		建設業	雰囲気であるが、変化が見られない。
		運輸業（道路貨物運送業）	消費税増税後の荷動きが低調である。
		金融業	小売店やデパートでは、消費税増税の影響もあり、4か月連続で売上げが前年比減少となっている。一方で、建設業の受注量は増加傾向にあるなど、全般的にみると、景気に変化はないものと判断される。
		情報通信業（情報サービス業）	顧客から、投資に関する話が増えてはいるが、規模や価格などは抑え気味と感じている。景気の先行き不安もあるようだ。状況は3か月前と変わっておらず、景気が良くなっているとの実感はない。
雇用	求人広告	特に好材料がない。	
	求人開拓員	雇用情勢（茨城労働局調べ）を見ますと、有効求人倍率も堅調な推移を維持しておりますが、1.06倍（7月）となっており、2か月前（5・6月）と比較しても横ばいです。支援センターは、新規求職者（登録者）の人数が前年同月比（6～8月）8.2%と減少傾向にあります。採用を見ますと非正規雇用が多く、正社員の採用は厳しいものがあります。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	例年8月は事務関係の方が夏休みをとるので、印鑑、事務用品販売が鈍り、9月になると回復しますが、今年は来店客数も減り、企業からの受注も減り、大変厳しい状態が続いておりますので景気は悪くなっております。
		百貨店、総合スーパー	敬老の日を含んでの三連休と秋分の日があり、行楽シーズンの時期であることから、いつもの月より来店客数が増加すると予想される。客単価は減少傾向にあり、3か月先もこの傾向は続くと思われる。
		スーパー	天候不順のため野菜が高くなっているため、買い上げ点数が減って、全体的に売上げが下がっている。
		スーパー	売上ベースでは前年を上回っているが、中身をみると1点単価の上昇で好調に見えているだけで、来店頻度、買い上げ点数が減少している。
		コンビニエンスストア	天候の不順や気温の低下で、本来店において伸長すべき分類の商品の販売が大きく低下している。
		都市型ホテル	予約状況は例年ベースの受注状態だが、レストラン等の個人での利用は昨年より悪い。
		旅行代理店	個人旅行の先行受注はやや良くなっているものの、法人需要の悪化及び収益の低下傾向が見られる。
		タクシー運転手	給料から判断して、売上げがじりじりと減ってきています。お客様も給料が上がらないと言っています。物価が上がると、給料が上がらなければ、当然買い物控えるでしょう。特に年金生活の人は、物価の上昇は歓迎しないでしょう。
		タクシー運転手	今月は敬老の日や秋分の日があり、秋の行楽シーズンではありますが、売上げについては、今月の前年比と3か月前（6月）の前年比を比べると、今月の前年比がやや悪くなっている。
		タクシー会社	タクシー料金の支払時に、春先は一万円札での支払いが多くあったが、ここに来て千円札で支払うお客様が増えたため、イメージ的に景気の後退を感じる。売上げもやや下り坂。
		タクシー会社	物価上昇により実質賃金が減少していることから、消費税増税を前に無駄の削減、娯楽費の削減、買い控えがあるものと考えられます。特に、飲食費・交通費等の削減出来るものについては削減する傾向が見られ厳しい状況になると思われますが、法人企業の設備投資は多少あると判断しています。
		ドライブイン	前年に比べ、予約状況も売店の客単価、来店者数も減少しています。
		理・美容店	8月は、お盆前が忙しかったが、中頃以降は暇になってしまった。前年度は、ここまで落ち込む事はなかった。
		企業	農業関係者
製造業（印刷・同関連業）	商業印刷物が大きく減少している。		
サービス業（広告業）	8月は販促広告が1番少ない時期。		
悪くなっている	家計	旅行会社	消費税が上がっていて、何を買うにも「高い」と感じます。また、ガソリン代も高いです。
		観光名所	お客様の来館者数や、売上げの数字から見る購買意欲を見ても、明らかに景気が悪くなっている。夏は、ボーナスや暑さによる特需により夏向け商品の購買力が高いはずが、今年あまり動きが良くない。
企業	製造業（食料品）	消費税アップによる価格の上昇、不順な天候による野菜類の高騰で、消費は冷え込んでいる。	
	製造業（精密機械器具）	引き合いはあるのですが、極端な価格競争になり、他決することが増えている。	

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント
良	家計	製造業（食料品）	7月中旬からの暑くなりかけの頃は、売上げも落ち、厳しい営業が続きましたが、8月に入りお中元・お盆・イベントへの参加もして売上も伸び、8月後半は天気は良くなかったが好売上げを継続した。9月は比較的気温も低めで、デパート等のイベント参加も多く、自社店舗が近年の9月としては過去最高売上げを示し、景気としては良いと思う。
やや良くなっている	家計	小売業（食品）	8月の売上げは、震災前の年と同じくらい良かった。
		精肉店	お客さんが買い物する額が、最近少しずつ上がっているようです。
		観光型ホテル	去年の同月から見ると、予約数が少し多くなっている。
		観光型ホテル	リピーターのお客様だけでなく、新規のご利用が増えてきた。
		スーパー銭湯	施設を拠点として、半径10km圏に新聞折り込みチラシ10万部を、春から毎月1回（月末）実施している案件がやっと定着してきた。
	企業	製造業（食料品）	株価動向やデパート等の高額品販売状況から判断。
		運輸業（道路貨物運送業）	8月末頃から、9月度の仕事の量が増えつつある。 それに伴って、在庫がやや増加し、トラックの動きも出てきている。
		サービス業	顧客からの具体的な引き合い件数の増加が認められる。また、営業活動においても、北関東道の業務用車両（トラック、営業車両）の通行の増加が感じられる。
	雇用	人材派遣業	派遣会社として受注があっても、それに対応出来る人物がいないと事業にならない。現状は、茨城県の有効求人倍率も大幅に改善しており、おかげさまで求人案内を出してもなかなか集まりにくい状況にある。コンビナート全体でないにしても、一部で人手不足と残業増の実情にある。
		民間職業紹介業	最近、業種を問わず企業からの求人依頼が増えています。しかしながら、企業からの募集条件に見合う人材の確保がなかなか難しい状況です。理由としては、求職登録者が少なく、かつ職業紹介しても、求職者の選り好みもあって、なかなかマッチングしない。
公共職業安定所		円安傾向の中、原材料輸入の面などで業界により温度差があるが、製造業を中心に良い状態の部類と思われる。	
学校就職関係者		6月20日より学院生の求人受付が始まっているが、例年に比べて出だしが良く、求人企業数が昨年比1.3倍となっている。早い段階で、平成27年度の採用計画ができるということは、状況が良いと考えられる。	
変わらな	家計	商店街代表者	消費税増税の駆け込み需要の反動による消費の低迷から、脱却できない状態が続いている。悪天候による影響も重なっている。
		スーパー	お客様の単価、お買い上げ点数に変化は見られない。
		コンビニエンスストア	客単価・買い上げ点数に大きな変化はありません。お客様の消費行動にも変化はないと感じます。
		コンビニエンスストア	客単価の変化は少ない。増税後の消費の落ち込みは戻ってきている。夏の天候不良により、冷たい商品はこの夏影響を受けたが、秋向けの温かい商品の販売は現在好調で、9月以降に推移しております。
		衣料品販売店	客数が上がってこない。同時に客単価も上がらない。春から変わっていません。
		自動車販売店	知人、友人、会社関係の人からも、景気の良い話は何も聞かないし、良い実感は無しのお雰囲気。
		農産物直売所	来客数の減少が見受けられ、天候不順による野菜の高騰がある。
		小売業（菓子類）	3か月前の対前年比の売上げと、今月の売上げはほとんど同じである。
		小売業（書店）	売上げ・客数ともに微減。状況としては、変わらない～やや悪いの中間くらいです。特に、購入商品については、不必要な物やついでに買うような物が売れていません。
		和食レストラン	売上げ横ばい。
		日本料理店	季節に関係なく、観光バスなどを受け入れるようになったので、客数は減っていないが、消費税8%がじわじわと響いています。
		タクシー運転手	前回の時期と同様、特段の変化もなく景気動向も均等に感じる。
		タクシー運転手	定修工事期間も終わり、観光地でないこの地区では客足は悪い。
		ドライブイン	消費税8%になっても、大きな落ち込みは見られない。
		レジャー施設	「良くなっている」または「悪くなっている」とのいずれの印象もないことから、結果として「変わらない」。
		理・美容店	景気は、良くもなっていないが、悪くもなっていない気がする。
		理・美容店	増税後の消費が落ち着いて、少し景気が横ばいになってきたと感じる。
住宅販売会社	来店数から判断して、良くなり始めた景気が一旦落ち着きだしたようだ。		
住宅販売会社	増税前の駆け込みの反動で、住宅着件数も減っている。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	天候の影響もあり、当地域は自然災害も少なく、野菜等は比較的安定した価格を維持している。しかし、今後台風等により、農作物に多大な被害があることも予測される。実質賃金については、減少傾向である。
		製造業（食料品）	相変わらず消費動向の上向きが感じられない。消費税アップの影響がまだある。
		製造業（電気機械器具）	主製品である自動車部品の受注は堅調であるが、民生品の受注は、3月までの駆け込み受注の反動から回復してはいない。
		製造業（化学工業）	原燃料価格のブレもあり、価格転嫁はますます難しい状況。稼働は何とか維持しているものの、利益確保は厳しい。
		製造業（鉄鋼業）	特に大きな変化はなく、フル操業状態が続いている。
		製造業（金属製品）	消費税8%導入前と後で変動が多く、5月頃から受注は下降している。
		建設業	増税後5か月が過ぎ、落ち着いた感はありますが、景気上昇は感じられません。
		不動産業	一般の建物の建築が、だいぶ少ないような気がします。このままの状態がまだ続くような気がします。
		内装工事業	今後景気が良くなる国の政策もないし、各個人の財布のひもは最低必要な買い物以外閉ざされているし、今後このままの状態が続くのではないかと。
		火力発電所	製品(電力)量の出荷に大きな変化が見られない。
や や 悪 く な っ て い る	家計	求人開拓員	景気が良くなったという話はあまり聞かれず、3か月前と変わらないと思います。
		スーパー	普段は他のスーパーに行ってるお客様が、売価が安いと時々来店されるようになってきている。
		家電販売店	前年比での金額・件数の減少がまだ続いている。4月からの大きな崩れは無いが、まだ良くなっているとは考えにくい。
		小売業（酒類）	一品単価及び買い上げ点数の下落。
		小売業（薬品店）	消費税増税で落ち込んだ売上げが7~8月で戻ると思われたが、いまだ回復していないようだ。
		洋食食堂	増税後4~6月は、前年比は良かったものの、7~8月は天候不順も重なり前年をクリアできなかった。
		割烹料理店	消費税が3%上がった当初はあまり感じなかったが、徐々に仕入れなどの経費に影響が出てきて厳しくなってきた。売上げの方も、3%分も入れた上でお客様の予算は変わらないので、実質は下がっている。
		タクシー運転手	消費税増税による消費の落ち込みが懸念される中、円安による食品の値上がりが響いてか、タクシーの利用者が減っているように思われる。
		ゴルフ場	予約推移が非常に弱い。稼働を上げるため、料金を下げた。
		クリーニング店	収穫の秋なので、いつもの年なら良くなるはずなのですが、天気も暑かったので、果物のなりもよく値段が安い（豊作）。米の値段も安い。肥料・農薬などの資材は、消費税が上がっているので経費負けしている。野菜は、水不足で高い。
企業	建設業	消費税の駆け込み需要が終わったので、建築着工件数が少ないです。	
	金融業	上場企業を中心とする大企業の株価・決算内容を見る限りでは、景気の上昇基調がうかがえるが、当組合の取引先である中小零細企業や個人事業主等に関しては、増税や燃料価格の高騰等による懸念から、先行きを不安視している企業・事業主が存在している。また、取引先より厳しい条件を提示されている業種もあり、やや悪くなっていると感じる。	
悪	家計	タクシー運転手	個人的ですが、8月の売上げは1日約5,000円と大幅ダウン。また、他の人の話でも悪いとのこと。とにかく夜は動かないし、日中も悪かった。

(4) 県南地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ガソリンスタンド	アルバイトの採用が思うように進まない。全般的に景気が良くなってきたことで、雇用条件の良いところがたくさんあるのではないかと。
		タクシー運転手	単純に乗車回数が伸びている。法人のおお客様のご注文も増えている。
	企業	建設業	売上げ、残工事物件、共に伸びている。
		建設業	地元の学校空調工事や水道の改修など、国補事業が多く発注されて、景気が良いように思われます。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	お弁当が高値になり、良質で少し高めの商品シリーズも販売が好調。商品の値段よりも、質が問われているように感じる。
		専門スーパー	増税後4か月は不調でしたので期待ができません。
		タクシー会社	若干、回復の兆しが見えるように思う。
		タクシー運転手	企業への営業マンが、若干増加傾向にある。
		ボウリング場	週末に雨天の日が多かったためか、また、お金の使い控えをしていたものの夏休みだったためか、子供に関する出費は従来通り使われたと思う。
		レジャー施設	1人あたりの購入単価が微増している。
		住宅販売会社	つくばの中心地だけかもしれないが、土地の回転が速くなってきた。
	企業	製造業(飲料)	お取引様の話を聞くと、少し良くなっているようだ。
		製造業(家具・装備品)	私共の仕事は、受注から納品までが1~3か月位の作業が多く、的確な予想がつきにくいのですが、今年度は注文が切れることなく忙しくしております。
		製造業(非鉄金属)	受注高が増加傾向である。
	雇用	建設業	来月4日に土浦花火大会があり、その関連工事で忙しいのは毎年のことである。民間工事は、相変わらずそれほどの受注がないのだが、公共工事が一気に出てきたので、応援を頼まないと言に合わない状況である。
		求人広告	業種を問わず採用ニーズが増えてきている。また、競合大手のキャンペーン終了なども、景気の回復に伴っての流れ。
		求人開拓員	9月9日に土浦合同庁舎で「元氣いばらき就職面接会」を行ったが、求職者の数は昨年54名で、今年は73名だった。求職者が増えたが、現時点での求人企業からの報告では、これから2度目の面接予定者の数が、昨年と違って相当数増えているとのこと。採用意欲が増したのか。
変わらない	家計	スーパー	消費税の増税後、一時(4・5月)は景気が悪く感じたが、6月より景気が回復し、客数・客単価が上がり、3か月前と同じ推移を保っている。
		スーパー	青果部門で高値が続いているため、売上げは好調である。水産部門ではさんまがよく売れており、回復傾向にある。
		コンビニエンスストア	お客様が価値を感じた商品・サービスへの対価は払うが、そうでない商品・サービスへは厳しさがあって、現状と変わらないと考えます。
		家電販売店	増税後、買物客数や販売数量は減少している。
		農産物直売所	前にも述べたように、地元のおお客様が多く、いつも見た顔なので変わりなく思う。売上げ的にも横ばい。
		和食食堂	売上げの前年比が同じくらいの推移。
		寿司店	消費税が8%になってやっと落ち着いてきましたが、8月が猛暑、そして長雨。「季節的な要因」を除くとありますが、あえて言うとひどかったです。それでも6月と比較して、悪いなりに変わらなかったと思う。
		都市型ホテル	宿泊、レストラン、宴会需要とも3か月前からのオンハンドもあまり変わらず、景気での動きは見られないと思われた。その他、周年行事などの宴会や研修含めた修学旅行などの需要も、例年より多少動きは見られたが、景気での影響ではないと思われる。
		都市型ホテル	ホテル全体での状況を見ると、宿泊に関してはやや良くなっているが、宴会・レストランの利用がやや悪くなっている。変わらない状況である。
		旅行代理店	シーズンで旅行の需要はあるものの、料金的には安価な商品を選ぶ傾向が強い。
		タクシー運転手	タクシー乗車回数、及び売上げもほとんど変わっていない。
		タクシー運転手	消費税増税以降、タクシーの利用頻度が平行線である。
		ゴルフ場	昨年の来場者動向と比較すると、若干だが上向いている。ただし、天候等の影響もあり、一概に景気が良くなっているとは言えない。
ゴルフ場	基本的に変わっていない。一見、来場者が増えているように見えるが、オンシーズンの入り口でも、料金を割引して集客している。消費税増税の影響は、当面消えそうにない。		

変わらない	企業	農業関係者	消費税増税後、必要以上のものは購入しない。また、資材費のコスト低減が求められている。
		製造業（印刷業）	来店者数もほぼ3か月前と同じ。
		製造業（一般機械器具）	特徴的な動きがない。
		運輸業（倉庫業）	入荷数量・出荷数量、ともに減少気味。特に運輸関係が厳しい状況。前年同期と比べると出荷数量が落ち込み、引き続き景気は変わらない。
		金融業	全体的に特段の変化はない。新規事業所の進出もほとんどなく、不動産の売買、設備資金需要等も依然として少ない状況にある。
雇用	人材派遣業	仕事の受注状況が横ばい。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	3か月前と比較して、8月はお盆与件等もあり、客数は増加（102%単純比較）したが、前年比ベースで比べると、5月95.5→8月93.2%。売上げ数にいたっては、94→91.8%と悪化している。
		小売業（生花店）	市街地周辺部へ大型店舗が新規開店をしており、中心市街地のドーナツ現象が起きているように思う。つくば市への人口移動と大型店舗の集約化により、来店客が以前より減少している。
		タクシー運転手	長雨で、夜のお客様がいなかった。
		パチンコ店	確実に客足が3か月前より落ちている。
		理・美容店	お客様との話の中で、「物の値段は上がるが、給料は上がらないよ」という話をよく聞きます。それでは景気もよくなりません。
		理・美容店	昔からの常連客の減少。新規客が総客数の2%あるかないか。
	企業	製造業（食料品）	原材料がかなり値上げされている。豚肉、石油関連商品（発砲スチロールの箱、包装用の袋等）が、円安や消費税増税等で上がっている。来店するお客様の話でも、景気が良くなっているという話は聞かない。アベノミクスでは、大手企業だけが潤っている。
		製造業（窯業・土石製品）	報道されているように、産地直売所などに行っても、野菜が相当少なくなっている。生産者にとっては収入が少なくなり、消費者にとっては価格が2倍3倍になり家計への悪影響を与えている。また、ガソリン等の高止まりもあり、景気が良くなっているとは感じられない。
		製造業（窯業・土石製品）	原材料価格や燃料費が上昇してきている。
		建設業	受注が3割以上減っています。また、引き合いは徐々に減ってきています(6,7,8月と)。この減少は当社ばかりではないようです。8月末日、ある同業者の葬儀での懇談会で、「景気が一部では上向いている様子が聞かれていますよね。お宅ではどうですか?」と聞かれましたので、2~3か月前から契約が減っています。困りました。と言いましたら、「そうですね。当社は半分減ですよ。今後の予想が見えません。閉鎖しようと思う…」と真剣。また1社消えるのかと思うと寂しい。
		不動産業	消費税UP後のあおりでか、売買・賃貸ともにやや悪くなっております。全12の平均データですが、つくばのTX新駅絡みはやや良くなっています。
	雇用	学校就職関係者	買い控えの傾向が続いている。今後の更なる増税に対して、気持ちが消費に消極的な雰囲気だと感じる。
悪くなっている	家計	小売業（食品・酒類）	地域行事やイベント等の売上げがあっても、郊外小規模店では全体的に客足が減っている。
		洋食食堂	消費税だけでなく、物価も上がって、年金生活者は大変生活しづらいとのこと。例えば、増税前は内税150円だった牛乳が、現在は150円+税となっている。
	企業	製造業（食料品）	消費税が上がってから、予想した以上に客数が徐々に減ってきているように思われる。

(5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	スーパー	弊社は2店舗中、財務理由で1店舗を閉鎖しました。閉鎖店のお客様が、残した店舗にご来店くださっているので売上は多少増加しております。ただそれだけでは景気動向は語れませんが、客単価・買い上げ点数が微増しております。	
		農産物直売所	天候不順により野菜が高騰しているが、買い控え的な状況ではない。	
		ドライブイン	客単価が、少しではあるが伸びてきている。	
		ゲームセンター	前年売上げを越えてはいないものの、徐々に前年売上に近づいている。	
		建築設計事務所	検討から発注に移った。	
	企業	製造業（電気機械器具）	受注量増により、人員補充の要請が一部の職場から出てきた。	
		不動産業	高額の中古住宅の売買が好調。	
	変わらない	家計	商店街代表者	花火大会やお盆等の行事のあるときは通常以上の売上げがあるが、終わるとまた例年通りの売上げになってしまう。
			スーパー	増税後一時落ち込んで、その後回復した状況から、大きな変化はない。
			コンビニエンスストア	増税してからの消費動向に大きな変化はみられない。
コンビニエンスストア			お客様の買い物の仕方に変化はなく、価格ではなく質・価値を意識した消費動向が維持されていると思われます。	
衣料品販売店			相変わらず売上げが伸びず、毎月昨年を下回っている。	
和食レストラン			3か月前の6月は、消費税増税の影響からか客足も減り、不景気を実感したが、今月もその状況は続いている。 メディアでは、経済は上向きとも伝えられるが、周囲にはそのような兆しは感じられず、地域的には一層不景気になっているのではないかと思う。	
都市型ホテル			とにかく、夜、人が歩いていない。他の飲食店なども、夜が弱い、と同じような事を言っている。	
ビジネスホテル			3ヶ月前から大きな変化はなし。全体としては「やや良い」の状態が続いている。しばらくは、この状態が維持されると思う。	
タクシー運転手			通勤時間帯は、お客様の送迎も多くなってきているが、日中及び深夜のお客様が減っている。	
タクシー運転手			企業は変わらないが、個人の利用が特に少ない。この地区は、デマンドタクシーがあるために、大きな減少になっている。	
ドライブイン			来場者数、客単価ともにあまり変化はなく、良くなっている感は感じられない。	
ゴルフ場			予約状況にて。	
ゴルフ場			特に大きな変化は感じられないが、ETCサービスの平日割引が無くなったことが浸透し始め、首都圏からの利用者が若干減になった。 また、リゾート地(北関東)は圏央道開通により、かなり影響を受けていると聞いている。身の回りという観点では、大きな変化は感じられない。	
理・美容店			売上げの面から考えると、昨年と比較してもあまり変わらない。ただ、男性客の減少、女性客の微増という感じがする。	
理・美容店			お盆などがあり、一時期忙しくなったが、その後はその反動で客足が減り、トータルすると変わりが無い。	
住宅販売会社			集客数が増えない。膠着状態が続いている。	
企業	農業関係者	青果物の単価は安定していて収入も増えたが、燃料が高いため経費がかかっている。昨年より、梨等の直売所の売上げが減っている。		
	製造業（食料品）	売上げが、ここ数か月ほとんど横ばいで、良くも悪くも安定している。仕入れ関係も、品薄・円安のため上昇傾向にあったが、ここにくいて少し下落し安定しだした。		
	製造業（印刷・同関連業）	消費税増税後、半年たつて、受注はそれほど落ち込んでいません。しかし、原材料の値上がりにも関わらず、製品単価に反映出来ない状況は続いている。		
	製造業（化学工業）	受注増～在庫調整の動きを繰り返し、大きな変化はない。		
	製造業（金属製品）	客先からの引き合い件数は増えつつある感はあるが、低コストの他、小ロット発注は相変わらず常態化している。よって、相対として「横ばい」を判断される。		
	金融業	消費税増税の影響も限定的で、特段の変化はない。		
雇用	公共職業安定所	新規求人数は、前年同月比6.9%減となり、新規求人倍率が1.41倍。前年同月差0.10増となっているが、有効求人倍率は1.03倍と、1倍台を何とか保った状態である。新規求人の減少と新規求職者の増加傾向がある。		
	学校就職関係者	製造業及び建設・設備業からの求人は例年より多く、仕事の量は依然好調とみられる。		
	求人開拓員	求人の種類が、介護・看護や資格要な製造・技術職が多く、求職者に合った求人そのものは増えていない様子。		

やや悪くなっている	家計	家電販売店	新製品の動きも弱く、価格はシビアで買い回りも増加傾向にある。
		自動車販売店	市場の伸びは前年を割り、なかなか回復しておりません。消費税アップ以降、消費者の買い控えがまだ続いている感じがします。
		和食食堂	ご来店いただくお客様の数が減っているように思います。
		和食食堂	野菜などの材料費の値上がりで、また、来客者の客単価の減少で、やや悪くなっていると思う。
		日本料理店	諸物価の価格が高騰しているのに、消費者全体の所得が低迷している。一部の大企業の社員と肉休労働者の賃金は上昇しているようだが、実際、貧困家庭は増加している。
		飲食業	今月（8月末現在）は、前年比で悪くなっています。消費税増税の影響と考えています。
		旅行代理店	ツアー旅行や団体旅行数が、2～3割減少傾向にある。特に年金受給者からの声として、「減額があり、生活が大変である」。私達は、65～75歳ぐらいの方が参加しなければ、やりがいが無い。
		タクシー会社	前回同様、現金の利用客が減少している。また、燃料高騰及び車両の修理費等増で利益率も減少している。
		レジャー施設	お客様が減少傾向にあるだけでなく、客単価も減少傾向にある。
		企業	農業関係者
製造業（食料品）	急激な円安が進み、輸入型の企業にとって、原材料高になって業績を悪化させつつある。そのわりには、輸出型企業もあまり活況とは思えない。		
製造業（印刷・同関連業）	消費税増税前の駆け込み需要の影響か、この夏の異常気象の影響か、それともアベノミクスの鈍化か。デフレから緩やかなインフレへの移行は、「言うは易く行うは難し」ではないが、地方の消費アップにはまだまだ。石破さんが「地方創生大臣」で入閣したので、大いに期待したい。		
製造業（印刷・同関連業）	当市最大の工場を持つ会社のリストラが発表された。2年ほど前から業績不振は言われていたので「やはり」という感じだが、従業員減少は、住宅・少子化・商業地帯に大きな影響を与えるだけでなく、取引企業・関連企業等の業績に与える影響はそれ以上に大きい。悪い方向に急速に向かっているとしか思えない。		
建設業	1ドルが108円となり、海外からの仕入れが高くなりやりづらい。		
雇用	求人広告	クライアントと世間話をして、景気について良い話が出てこない。製造業など設備投資をするものの、回収の目処は立っていないと話す方がいた。サービス業も、お客様の入りに苦戦していて売上げが上がっていないとのことだった。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	消費税アップ、猛暑、以前からの少子高齢化問題など、悪条件ばかりでギブアップ寸前です。
		製茶販売	お客様の買いに来てくださる回数が減った。お買い上げが少量になった。
		クリーニング店	品物の買上げ点数が減っています。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	消費税が上がるとのことで、2～3月に先食い・先取りした反動が、4月以降月を増すごとに悪くなっています。当社のお得意先である問屋・仲間同業者・商社の皆さんへ仕事のお発注をお願いしても、「仕事が厳しい状況」だと言われます。
	雇用	人材派遣業	大きな仕事がなくなったため、売上げがなくなり大ピンチです。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	中国料理店	消費税増税も、だいぶ落ち着いたのか、客単価も上がってきています。冬のボーナスも上がりそうだ、と言う方もいらっしゃるので、3か月後は景気も良くなっていることを願います。
やや良くなっている	家計	スーパー	他のスーパーのチラシ特売日に関係なく、人数・売上げが伸びている。
		小売業（弁当・惣菜店）	消費税が上がったことによる影響もさほどなく、不安感が少なくなることで景況感が上がるのではないかと感じています。
		小売業（時計）	消費税の問題も落ち着いてきている。
		スナック	年末年始くらいは、多少の外出や外食、家電の買い替え等をする人が増える。
		観光型ホテル	忘年・新年会の予約問い合わせが、前年に比べて増加しているように感じる。
	企業	運輸業	太陽光パネル等の保管・輸送の依頼が増えている。
変わらない	家計	スーパー	購買意欲は、まだ少しの間は良くなると考えているが、食料品(特に野菜)の価格が安定せず、土で現況のまま景気は進むと考えます。
		コンビニエンスストア	大きく良くなる要素も、悪くなる要素もないと思います。
		自動車販売店	色々なものが少しずつ値上がりし、お財布のひももさらに締まっていくと思うので、消費活動が停滞すれば今の状況は変わっていかないように思う。
		農産物直売所	個人消費額（客単価）が以前より低下しているように思われる。消費税増税後、買い控えが続いているように思われる。
		小売業（水産物）	お客様との会話で、食費を削る話題や、景気の良いという会話が聞こえてこない。
		レストラン	日々の話の中でそう感じる。
		食堂	娘のファンの方が来てくれますので、少しは他店と比べれば良い方だと思いますが、駅前がシャッター通りになるのは当たり前だと思う。年間450～500万円を預金から払い出している。個人経営は大変です。
		観光型ホテル	3か月くらいではそうそう変わるものではない。
		タクシー運転手	先行き見通しのつかない景気と、将来消費税の増税などで、財布のひもは緩まない。
		タクシー運転手	消費税アップの懸念や燃料高騰などの不安材料が多くあり、悪くはならないと思いますが、現状維持までだと思います。
		タクシー運転手	多分、今後3か月先も、今のところ特筆する材料も話題もなく、他の産業に見られる振れ幅が広くなく、ある意味、良くも悪くも低レベルでの安定維持が継続されるだろう。
		ドライブイン	天候不良により、直売所の青果が品薄となっている。今後の農作物の出来具合に左右されると思います。
		レジャー施設	周囲に、景気変動する大きな要因が見られない。
		ゴルフ場	若い年代の方が、お金をあまり使わない。
	ゴルフ場	全体に落ち込んだ傾向が、そのまま推移すると思われる。	
	ボウリング場	お客様の残業が増えている割には来店が少ない。	
	住宅販売会社	来年度の増税前の駆け込みを期待したいが、まだまだ様子見が続くそう。	
	企業	林業関係者	良くなる要因がなく、変わらずにいてほしい。願望含みである。
		水産業関係者	変化する起因が感じられず。
		製造業（電気機械器具）	受注が少しずつ増えてきている。利益も同様に徐々に伸びてきているが、従業員の給料にまでは反映されていないと思われる。
製造業（電気機械器具）		当面、液晶・自動車・鉄道関連は堅調、原子力関連は微増、発電所や研究所の作業の多い状況が継続する。	
製造業（電気機械器具）		良くなる見通しも悪くなる見通しもない。	
製造業（一般機械器具）		食品値上げやガソリン価格の高止まり、夏季の天候不順等により冷え込んでいる消費マインドの改善が進まないと思込む。	
製造業（輸送用機械器具）		消費税の影響が早く回復すると想定されていたが、現状は厳しく、更に来年度に実施される10%へのアップも見越した、消費マインドの落ち込みが懸念される。	
製造業（精密機器）		デパートなどの売上げに消費税の影響が出ている、というマスコミのニュースが流れている。	
製造業（精密機器）	開発が長期にわたるので横ばいです。		

変わらない	企業	建設業	先行きについても目新しいものはなく、現在の状況が続くと思われる。
		金融業	日立製作所関連に依存している部分が多く、今後の景気についても、現在の状況と変わらないと思われる。
		不動産業	購入マインド旺盛な顧客は少なく、今後3か月での回復は考えにくい。
		情報通信業（情報サービス業）	当面、この状況が続くものと考える。
	雇用	求人広告	業種によって良い悪いがはっきりしているので、トータルでは変わらないと思われる。
		公共職業安定所	引き続き、求人は増加傾向で求職者は減少傾向にあると思われる。また、業界により異なるが、建設業は震災関連の復興工事や耐震補強工事などで受注はあるものの、資材等の高騰で、コストアップの影響が心配される。なお、製造関連は燃料費の高騰で利益が懸念される。
		学校就業関係者	景気回復の兆しの材料が特に見当たらない。
		求人開拓員	中小製造業では、受注が増えてくるとの話が出てこない。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	年金生活者の各負担が大きい（介護、税）。将来に対する設計が見えない（少子高齢化）。
		衣料品販売店	これからも、本当に必要なものしか買わないだろう。
		小売業（酒類）	賃金上昇なく、物価の値上がり、特に電気料金や燃料費等、家計に消費税増税の影響大を感じる。
		旅行代理店	貸切バス新運賃制度で、バス運賃が前年までより値上がりし、受注件数が減少すると思われる。
		ゴルフ場	予約動向は、12月の予約前年比27レベル、予約計画比19レベルで推移。予約の流れがやや低調で悪くなる。10～12月の3か月の予約の流れは、前年比で58レベル、計画比で45レベルと、ややゆるやかに回復はしているが油断はできない。異常天候次第である。
	企業	製造業（電気機械器具）	下期の予想案件だけでは、十分作業量を確保できておらず更に受注活動をする必要あり。
		製造業（電気機械器具）	受注が減ってきている。
		製造業（電気機械器具）	インフォメーションや内示で、来月以降の数字が増加傾向にない。見積り依頼もさほど多くない。
製造業（電気機械器具）		10月から生産台数が増えてくる。	
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	店舗への求人は増えており、景気の悪さは変化しない。また、冬に向けてさらに店舗への客数の影響が大きくなると思われる。
		居酒屋	宴会の予約がない。
		タクシー運転手	駅乗りが大変減少している。
		クリーニング店	消費税増税により（客数が）減少しているため、今後も減少することが予想される。
	企業	運輸付帯サービス業	作業量が減少気味。

(2) 県央地域 【先行き】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	自動車販売店	東日本大震災で、自動車は3月11日から8月まで新車の生産が滞ったのが、9月以降は平素に戻り、初回の車検対象台数が回復する。また、来店数が8月は4～7月の倍くらいあり、自動車業界全体もそんな声を聞いている。
	企業	製造業(金属製品)	需要はますます増え続け、年内はフル稼働の状況。まだ年内の引き合いが多く、すべて断っている。明らかに供給力不足となっている。単価も少しずつ上昇し続けている。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	駆け込み需要の反動も半年を過ぎて、解消されていくと思う。
		割烹料理店	3か月先というと忘年会シーズンなので、多くの予約が入ることを期待したいです。
		都市型ホテル	現在の予約状況がプラスになっている。
		理・美容店	12月は忙しくなっていると思う。そう願いたい。
	企業	製造業(食料品)	行楽シーズンの観光客の増加に期待する。
		サービス業(コンサルタント業)	先々の注文がある。
雇用	人材派遣業	今後も仕事量が増えていく様子。	
変わらない	家計	商店街代表者	3か月先の事はわからない状態です。消費税の値上げと原材料(ゴム製品、アクリル材、水牛印材等)は輸入製品が多いので値上がりしています。その分が価格に転嫁出来ていません。先行きは悪いままで推移すると思われます。
		百貨店, 総合スーパー	3か月先の12月はクリスマスや歳暮商戦があり、来店客数は増加し、売上は伸びると思われる。しかし、衣料品、高額品の回復は弱い動きにあり、この傾向は続くと思われる。
		百貨店, 総合スーパー	消耗品や生活に必要なものについては、今後動きが出てくると思われるが、贅沢品と言われるようなものは、動きが厳しくなると考えている。消費者が買い物の優先順位をつけて、よく考えて購入するスタイルが増えてきている。
		スーパー	まだ地方都市では所得のアップにはつながっていないと、消費に対しては慎重になり、節約志向が続くと思う。燃料費が多少落ち着けば、良い材料になる。
		スーパー	働いているパートさんの話でも、節約に苦労している様子。ご主人や自身の給与だけでは足りず、生活費を切り詰めている。
		スーパー	消費税増税の動きもあるし、景気が良くなるような話題も乏しい。
		スーパー	天候にもよると思われるが、大きく変わるような与件が見当たらない。
		スーパー	引き続き、食品・飲食の売上げはとれると思いますが、それ以外の売上げをとるには、あと半年は必要でしょう。
		コンビニエンスストア	季節的要因は一段落し、嗜好の変化が大きく変わることがないと予想される。
		農産物直売所	製造の原材料のコストは横ばいで、売価も横ばい見込み。ガソリン価格も横ばいから下落傾向。
		レストラン	まだまだ良くなっていくとは考えづらい。経費節減、家庭の食費節減等はまだまだ続き、外食する機会は増えそうにない。
		レストラン	パーティーの予約状況も、ほぼ横ばいで特に伸びていない。
		都市型ホテル	現在の予約状況では、昨年より伸びておらず、今後大きく伸びることも難しいと思われ、現状を回復するまでには至らないと思われる。
		観光型ホテル	個人旅行の伸びが、繁忙日を除くとあまり期待できない。連休等に集中している。
		レジャー施設	予約状況や問い合わせの状況から、現状の順調な入れ込みは維持できると思われる。
		ゴルフ場	これから台風シーズンに入り、天候不順の影響を受けやすくなる。テレビ・インターネットの天気予報による予約の取り消しも多く見受けられる。
		ボウリング場	12月のホリデーシーズンは消費が増えると思うが、来年のさらなる増税に向けて、消費者の金銭感覚はよりシビアになると思う。
		スパ・銭湯	別棟宿泊施設の利用が増加傾向にあるのは、安・近・短の行楽の方向に進んできていると考えられますが、冬の到来が早く来ることにより、更に良くなると期待するも、来年の消費税の引き上げ決定の時期も同じとなることによるムードの心配をする。
		レジャー施設	新規契約の問い合わせもそれほど多くない。
		住宅販売会社	「変わらない」と回答したが、「わからない」というのが正直な所。見通しが全くたたない。
企業	製造業(印刷・同関連業)	消費税増税の影響から、景気の良くなる材料が見つからない。	
	製造業(印刷・同関連業)	良くなる気配が感じられない。	

変 わ ら な い	企業	製造業（窯業・土石製品）	来年に向け、大型工事の見積もりが増えてきている感じはするが、受注に至らない。
		製造業（一般機械器具）	何も見えてきません。下がらなければ良い。
		運輸業（道路貨物運送業）	今から農産物が動き始めるので、期待している。
		金融業	依然として、一般消費者の購買力に変化はなく、商店街の売上げは苦戦している状況を見ると、今後3か月の景気に変化はないものと判断される。
		不動産業	お客様の声で、給料面で上がったという話があり出していない。
		サービス業（広告業）	消費税増税の影響がまだ強い。秋の販促への地元企業の宣伝広告出稿数が、昨年を下回っている。
		情報通信業（情報サービス業）	商談数は増えてはいるが、価格やコスト面から期待利ざやの確保が難しくなっている。国の成長戦略に期待するが、今の流れが3か月先に大きく変わるとは思えない。
雇 用	求人広告	直接良い話を聞くことがなく、一部の大手のみに集中している気がする。	
	公共職業安定所	今後も緩やかな景気回復傾向は持続していくものと思われるが、当所独自の調査によると、先行き「好調・やや好調」と回答した事業所14%に対し、「不振・やや不振」が29%となっており、消費税増税後、人手不足（採用困難等）、電気料金の値上げ等が影響しており、業種により状況は大きな差が出ている。	
	学校就業関係者	今以上に求人が増えることは考えにくい。仕事があるのに、人が集まらない状況も考えられるので、現状とそう変わらないと思う。	
	求人開拓員	賃上げ、夏のボーナス等で家計は楽になるかと思いきや、物価高騰（野菜、ガソリン、乳製品など）、先行き不安もあり、今後も個人消費は伸びないのではないかと。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	先行きについて好転するきっかけがなかなか掴めていない。客単価の継続減からそう考えます。
		家電販売店	来客が少なく、日銭が入らない。
		旅行代理店	個人旅行の先行受注はやや良くなっているものの、法人需要の悪化及び収益の低下傾向が見られる。
		タクシー運転手	この先3か月の間に、給料が上がるとは思われません。ある企業は「中身は減らしますが、価格はそのままにします」と。消費者を愚弄するも程がある。初めから値上げしなすと言ったらどうか。全てこのような事ばかり。この先景気が良くなるとは思えません。
		タクシー運転手	3か月先の12月は、クリスマスや忘年会があり需要が増える時期であるが、それは毎年のことである。このところの燃料高の影響等により、利益率は減少傾向にあり、3か月先もこの傾向は続くと思われる。
		タクシー会社	日車（1日1台当たりの平均値）当たりの売上げがやや下り坂。消費税増税の判断を控えて、様子見の気配も感じるので、多少悪くなっているのではないかと。
		タクシー会社	物価上昇が止まらないものと思われます。また、賃金については増加する傾向にはなく、最低賃金が上昇しますが、賃金増加に繋がるとは思えません。消費税増税は止められないと考えますので、実質賃金は減少するものと判断します。よって、消費は先の事を考えて貯蓄重視となり減少するものと考えられます。
		ドライブイン	来店者数が増えるとは考えにくい。園内は、1年で1番来園（当店の）来店も少なくなります（花がないため）。
		観光名所	消費税が4月1日から上がり、4～6月くらいまでは値上がり分の高さが実感できなかったが、増税から4か月経ち、一般消費者に高くなった実感が表れ始めている。
		理・美容店	気象による災害や全国的にあまり良い材料がなく思える
建築設計事務所	公共事業の入札金がダンピング傾向にあるため、ゆっくりと下降線と感ずる。		
企業	製造業（食料品）	悪いまま横ばいか、より悪くなる。	
	製造業（精密機械器具）	現在進行中の新規OEM先の開発商品が、売上げにつながる予定。	
	建設業	様子見、警戒心が見られる。	
悪	家計	旅行会社	8月よりバス代の算出方法が変わり、バス代金が高くなったので、見積りを提出してもほとんど決まらないです。
	企業	農業関係者	米を始めとした農作物の収穫期を迎え、天候不順の影響や米価格の大幅下落により、農家所得はひっ迫する。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	スーパー	加工品や雑貨なども、今後は売れてくると思います。4月から6月まで、加工食品・雑貨がよくありませんでした。
		家電販売店	消費税の更なる増税前による購買は増えると思予想。季節商品の動きが左右するが、工場関連の業績が良ければお金は動くと思予想。
		小売業（食品）	直売所での売上げは、今までよりも動きが良い。
		精肉店	年末になると客単価が上がるので、このまま売上げが伸びて若干良くなるように思う。
		タクシー運転手	今年の後半（年末）に、一部コンビニエント企業で生産設備の増強工事開始となり、一般消費者の年末動向も期待している。
		タクシー運転手	年末の繁忙期になりますので、利用者も現在より増えて、やや乗車率も上向くかと思う。
		住宅販売会社	増税前の駆け込みが多少はあると期待。
	企業	製造業（食料品）	地方再生の方針がうまく行くよう期待したい。
		製造業（食料品）	自社店舗の売上げが好調で、持続できればと思っています。秋の行楽シーズンになってきますので、急激に落ちることはないと思います。秋冬のインパクトのある商品開発が急務としています。
		製造業（電気機械器具）	新規受注の動きもあり、秋以降、増産が期待出来る。ただ、業種により好・不調の差が大きく不透明。
		建設業	少しずつでも景気が良くなってほしいですが、なかなか上昇の感じがしません。
		運輸業（道路貨物運送業）	秋口から年末にかけて、夏までの落ち込みはある程度回復すると考えている。個人消費動向は上向き感があるので、在庫及び出庫は増え、トラックの動きも活発化すると考えている。
	雇用	人材派遣業	現状の生産増の傾向は、年内は続くと思見て良いと思思います。
		公共職業安定所	建設関係の需要も多くなると思われ、それに関わる様々な業界にも良い影響を与えていくと思われる。
	変わらない	家計	商店街代表者
スーパー			お買い得品の目玉商品に集中して、あまり余計なものを買わない傾向がある。特に、衣料品は前年に対して5%くらいダウンしている。
コンビニエンスストア			企業の業績が上がっていても、個人の収入が増えない限り、お客様の購買意欲・消費行動に変化はないと感じます。
コンビニエンスストア			質の良い商品・サービスを中心に、お客様は以前より選んで買い物される場面が一層増してくる。消費動向が大きく改善はしないと思われれます。
衣料品販売店			客数が上がってこない。同時に客単価も上がらない。春から変わっていません。
農産物直売所			客単価や利益率の減少。
小売業（菓子類）			今のところ良くなる理由も悪くなる思予想もない。
小売業（酒類）			天候の悪化がなければ変わらないと思思います。また、天候が悪化すると景気も下落が思予想されます(天候の悪化はイベントや催事等の中止があるので)。
小売業（薬品店)			地方の商店街は、インターネット普及により相当なダメージを受けている。市、県、国による、地元商店街の活性化の政策が必要な気がする。
和食レストラン			景気回復の実感がない。
割烹料理店			消費税が上がったのもあるが、物価自体が少しずつ上がっているので、経費に食い込んでくると思思う。
観光型ホテル			3か月では、良くも悪くもそこまで変化はないと思思う。12月の予約の入り状況も例年の今頃とあまり変化がない。
タクシー運転手			夜がとにかたく動かない。3か月先くらいで急変するようなことはあり得ないと思われれます。
タクシー運転手			11月(祝日)12月(忘年会)はある程度期待できるが、その他は良くなる要因が見当たらない。
ドライブイン			現在の経済状況で、大きな景気回復が見込めないと思思う。
スーパー銭湯	新聞折り込みの内容で、多様なキャンペーン(特典付きや割引)を実施しているものの、お客様のニーズは「もっと!もっと!」との声がある。これ以上は経営的にも苦しくなるが、お客様のサービスへの「慣れ」が変化をなくしていく。		
レジャー施設	特段の要因において変化がなければ、当分は変化がないものと想定される。		
住宅販売会社	特に大きな景気対策が感じられない。		

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	こここのところの原材料価格上昇分を、大手量販店の意向が強くて、納価に転嫁出来ない状況が持続していることから、景気は現状維持ではないか。
		製造業（化学工業）	良くも悪しくも状況の大きな変化は望めない。数量増が難しい中、競合によるシェアUPに注力する。
		製造業（鉄鋼業）	変化が起こるような兆候はなく、現状と同じ状態で推移していくと感じられる。
		製造業（金属製品）	消費力は今後も好転するとは思えない。日本国内にてもものづくりをしている場合は、原油・電力・原料高によって、コスト割れしている商品も多くなった。
		建設業	消費税の駆け込み需要が終わったので、建築着工件数が少ないです。
		金融業	競争力の低い中小零細企業の経営者及び従業員は、将来に不安を感じていると思う。今後も景気向上の大きな要因がなく、経営者も新たな設備投資が出来ていない。従業員においても、今後も給料の上昇は見込めておらず、生活必需品や食料品の価格上昇も予想される事から、消費の伸び悩みが懸念され、3か月先の景気も変わらないと思われる。
		内装工事業	去年は、消費税増税の駆け込み需要で若干忙しかったが、今年の年末は閑古鳥が鳴かないように切に願っている。
		サービス業	海外情勢の不安定さから、円安誘導による輸出ドライブの効果がどの程度まで拡大するか不透明。また、円安による国内諸物価の上昇、消費税増税による消費マインドの低迷が顕在化し継続すると予想する。
		火力発電所	製品(電力)量の出荷見込みが前年度並み。
雇用	民間職業紹介業	やはり何をおいても、人材不足が解消されない限り厳しい状況は変わらない。	
や や 悪 く な っ て い る	企業	自動車販売店	周囲で景気の良い話を聞けない状態から見通して。
		小売業（書店）	今年に入り、毎月毎月微減。上向く要因が見当たらない。
		洋食食堂	原材料価格やガソリン価格が相変わらず高く、お金を使いつらい状況が続くと思う。
		日本料理店	年末に向けて例年売り上げが上がるはずですが、節句なども節約傾向にあり、中食で済ませる方が多くなってきている。
		ゴルフ場	月初めは、11月の流れで高単価。中旬以降は稼働が弱くなりそう。
		理・美容店	今のこの政治をやっている限り、絶対に景気は良くならないと思う。
		理・美容店	高くても良い物と、安いけどそれなりの物が売れて、中間そこそこの物は売れない。サービスもそれにあてはまると思う。
		クリーニング店	農家などは経費負けしているの、消費にも慎重になる。
	企業	農業関係者	物価の上昇などにより原材料が上昇傾向にあり、さらに消費者物価も上がり、それに見合った賃金上昇や所得の向上が追いつかず、その結果、可処分所得が目減りが心配される。
企業	保険業	油が高いままきている。電気料金が少しずつ上がっている。米価が安い。こしひかり一俵10,000円、あきたこまちが9,000円。25年度より2,000円安い。兼業農家がまだ多いので厳しい。	
企業	不動産業	来年の消費税がどうなるのか、色々と事業者は気をもんでいると思う（消費者も同じですが）。消費税が2%アップしますと決定した場合、また建築費が上がって大変だと思います。	
雇用	求人開拓員	燃料（ガソリン等）があまり安くなっていないうえ、食料品等の生活必需品の値上げが進んでおり、買い控えに走り消費の伸びは期待できず、3か月先の景気はやや悪くなっていると思います。	
悪	-	-	-

(4) 県南地域 【先行き】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ガソリンスタンド	震災復興需要やオリンピック関連で、景気は上向くと思う。
	企業	建設業	年末で忙しいと考えがちだが、民間で年内にやってもらいたい、という人が以前よりかなり少なくなったので、年末でも普段と変わらないのが最近の現状である。役所からの見積り依頼がかなりあり、この傾向は3か月先も続くと思うので、景気は良くなっていると思う。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	お客様から、増税直後時のように「不景気」「買い控え」という言葉を聞かない。
		家電販売店	冬の寒さの対策需要が見込まれる。
		専門スーパー	増税の買い控えがなくなってきましたので、良くなると考えます。
		タクシー運転手	景気上昇中ですし、久々に贅沢なクリスマスを過ごしたいという期待も込めて。
		タクシー運転手	日経の上昇、為替変動等により、企業業績のアップも予想され、個人消費の伸びが期待できる。
		住宅販売会社	土地の活性化により、住宅販売が堅調。
	企業	製造業（家具・装備品）	日頃のメディア等の情報のような良い話題は、あまり聞かれませんが、これから良くなるよう期待するところです。
		製造業（非鉄金属）	受注高が増加傾向である。
	雇用	人材派遣業	派遣業での繁忙期（通年）のため、11月くらいまで好景気になるかと思われる。
		求人広告	新規出店等も増えてきているように思える。
変わらない	家計	スーパー	買上げ点数・客単価が好調の現状が、すぐに変化するような判断材料が見つからない。
		スーパー	一品単価が上がっているものの、買上げ点数の落ち込みはみられない。好調は続くと思われる。
		スーパー	長雨の影響で、野菜の値上がりが心配。
		スーパー	今後、イベント・行事・ハレの際の支出は惜しまないと思われるが、これまで同様、普段の日に支出を控えると思われる。
		コンビニエンスストア	特に景気が上下する具体的要因は乏しく、現状と変わらないと考えます。
		農産物直売所	極端に目に見えた動きはないと思う。
		小売業（食品・酒類）	現状から判断して、悪くはなっても良くなる要素は見当たらない。定期的な注文高もやや減りつつある。
		洋食食堂	悪いままの状態が続く。
		旅行代理店	貸切バスの料金の改正で、旅行代金にも影響があり、今後の見通しが明るいとは思えない。
		タクシー運転手	駅でタクシー利用のお客様が増えてこない。
		タクシー運転手	なんらかのイベントがなければ変わらないと思う。
		タクシー会社	大手企業は売上が伸びたとニュースで言っていますが、タクシー業ではあまり売上げは変動していないと思います。
		タクシー運転手	一般の利用客が、消費税増税のため買い控え等の傾向にあり、変化はないと思われる。
		ゴルフ場	例年秋シーズンの予約は早めに埋まるので、変動要因とは考えにくい。今後の初冬から冬シーズンの動向を見極めたい。
		ゴルフ場	オンシーズン・オフシーズンの料金設定を設けている業種は、本来ならこれから価格を引き上げる予定だが、それが難しい状況で、引き下げをすると予約が入ってくる。景気が変わらないと判断せざるを得ない。
		レジャー施設	特に増減する要因がない。
		企業	製造業（食料品）
製造業（食料品）	地方では給料が上がらず、消費税が上がった状態では消費者の財布のひもが固く、景気の悪い状態が続くと思われる。		
製造業（飲料）	良くなる判断材料がない。		
製造業（窯業・土石製品）	震災復興需要もほぼ終息し、今後一般公共事業がどれだけ発注されるのか先が見えない。		
製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。		
建設業	9月に入りましたが、毎日営業員より、地元企業の明るい話題がありません。しかし、大型物件として県南地区に6,000坪の土地を確保した企業が、流通センターを作る情報があり、先方の社長に会って確認します。メーカーよりの要望で、県内の県南地区の拠点として確保。将来を見込んで製品の在庫を確保するとのこと。中央企業の範囲内の情報です。		

変わらない	企業	建設業	仕事量（物件の受注希望案件）は多いが、こなせる量がピークを超えている。仕事があっても、処理可能案件が伸ばしきれない。
		建設業	3か月先の景気はわかりません。資材費や人件費の変動は、まだないよう思われます。
		金融業	土木工事・建設業者等の一部の業界については、多少動きが出てきているものの、依然として経済効果等に結びつくような話題が少ないことから、現状と変わらず推移すると判断される。
	雇用	学校就職関係者	必要最低限での消費活動が続くと思う。
		求人開拓員	求職者の数も増えているので、変わらないと思う。
やや悪くなっている	家計	和食食堂	暗いニュースが増えているので、外出も控えてしまうのでは。
		寿司店	アベノミクスとかよく言われますが、低調気味で悪くなると思う。来年の今頃は10%。冗談じゃないよ、と消費税の話。
		都市型ホテル	忘年会シーズンを迎えるわけですが、やはり、会社経費の圧縮のために行わない企業や、予算を下げての開催をする企業もあり、景気に左右されるところが見えてきている。ここからの判断では、やはり景気が悪くなってきていることがわかります
		都市型ホテル	現時点の予約状況を見てみると、あまり思わしくなく、やや悪くなっている状況である。
		パチンコ店	お客の活気がない。この先も明るい感じがしない。
		ボウリング場	またレジャー出費は抑えられるのでは。夏休み中、子供連れは多かったものの、若者の来場増はなかった。
		理・美容店	物の値段が上がって給料が上がらなければ、悪くなるのは当然だ。うちのお店のお客様も、安いお店に流れそうで怖いです。
		理・美容店	美容師が減少している。美容の離職者が増加。1人でやる独立も増加。全国的にも、新規開店は増加している。作業面積は減少。料金をいじれば、一気に経営はおかしくなる。
	企業	製造業（印刷業）	特に上がる見込みがない。
		製造業（窯業・土石製品）	ここ最近円安が急激に進み、潤う企業より原価高の影響を受ける企業、特に中小企業の収益に与える影響は大きいと思われる。
		運輸業（倉庫業）	生産等（工場）が少なくなりつつあり、製品があまり動かない傾向が見受けられる。今後の景気はやや悪くなってくると思われる。消費税アップも視野に入れると、買い控えがかなり出てくる。
		不動産業	消費税増税の影響により、やや悪くなってくると思う。全般的な消費マインドの低下が最大の理由です。つくばの一部を除いては、供給過多とニーズの低下により、先行不安視をしております。
	悪	家計	小売業（生花店）

(5) 県西地域 【先行き】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	期待大。秋冬物が本格的になる時期。少しでも明るいニュースを期待する。
		コンビニエンスストア	増税後半年経過すれば、買い控えによる心理は軽減されると思う。
		農産物直売所	冬のボーナス等に大きく左右されると思うが、悪くなる要因も見当たらない。
		ゴルフ場	夏季の悪天候による外出不足が、秋になって反動するのではないかと期待も含めた回答。
企業	製造業（金属製品）	周辺国を含む海外情勢と、新内閣の発足がどう影響するのか。ただ、多少は上向くのでは。	
	不動産業	賃貸も売買も、高額希望が増加。一方で、極端に安い物件希望者も増加傾向にある。（二極化？）	
変わらない	家計	商店街代表者	食料小売店としては良くなる要素は全くない。
		スーパー	客数の状況はあまり変わらない中で、相場・物価等での変化になるように思います。
		家電販売店	良くなる見込みが見えてこない。
		自動車販売店	ガソリン高が影響して、更に買い控えが続くように思われます。
		和食食堂	良いも悪いも要素が見当たらない。
		和食食堂	忘年会の時期なので、来客数は多くなるだろうが、原材料高が3か月先も続くとすれば、利益率も減少するので変わらないのではないと思われる。
		都市型ホテル	忘年会等の予約が、今年は少ないように思う。これから入ってくることを期待しています。
		ビジネスホテル	「やや良い」状態を保っていると思う。圏央道の工事や住宅地の造成、新規の商業施設の進出など、人の動きが活発である。
		タクシー運転手	全く変わらないと思う。農林地帯のため、自家用車が多い家があり、企業だけが頼りです。
		ドライブイン	大きな変化はないように思う。
		ドライブイン	円安、インフレ傾向の中、所得の増加が追いついていない現状では、地方の景気改善ははかどらないと思います。
		ゴルフ場	予約状況にて判断すると、変化なしです。
		ゲームセンター	売り上げは良くなってきているものの、力強さはなく、今後の伸びはあまり期待できない。
		レジャー施設	普段の仕事として集客努力というものがあるが、打つ手なしに近い状態が続いている。また、短期間で効果を出すためには、経費増を覚悟しなければならないように感じる。
	理・美容店	ニュースや新聞で見ると、景気の良さは感じられない。	
	建築設計事務所	良くも悪くも、何か気になるような目立った動きがない。	
	住宅販売会社	良くなる要素が見受けられない。景気が良いと言われているのは都市部だけでは。	
	企業	農業関係者	消費税が増税になり、今後も増税が検討されているが、直売所などでは増税になっても価格を上げていない。また、燃料高騰が続けば、今後も変わらない気がする。
		農業関係者	米価が安く、消費意欲が湧かないと想定できる。
製造業（食料品）		消費税の増税をまた来年に控え、自分の周りも含めて好景気になるのか、疑心暗鬼な気持ちがある。景気が上向きといっても、一部の産業・会社だと思う。	
製造業（印刷・同関連業）		都市部は、アベノミクス・2020年の東京オリンピック・リニアカーの始発駅（品川駅）周辺の大再開発等は、東京一極集中により一層イベント・再開発が目白押しで、景気上昇の要素がたくさんあるが、地方はどんな方向に行くのか。若者が地方に居残って、仕事またはボランティアにも精を（頑張る意欲を）出せないような日本、地方になってしまうと、犯罪ばかりが増える心配がないでもない。	
製造業（窯業・土石製品）		今は状況が厳しいのだから、良くなる要素を見つけることは出来ません。今の状況より悪くならないよう。お客様へ、心を込めてお願いし、製品の品質向上とか、お客様が「他社より当社へ発注したい」と思わせる何かを作り出す事を考え、実行していきたい。	
製造業（電気機械器具）		長期的な受注動向の把握は難しい状況であるが、大きな変動の見込みはない。	
金融業		設備投資の事案も出てきているが、全体的には現状と変わらず推移するものと思われる。	
雇用	求人広告	あまり良くない状況が継続する可能性があると思っている。クライアントと予算の話をする時、増額するとの回答は少数派だからだ。予算は、減額するとの回答も少数派だが、横ばいの傾向が強いと感じている。	
	公共職業安定所	原油や原材料価格の高止まりや、物価上昇に伴う消費力低迷など、今後の景気により雇用動向が懸念される。	
	学校就職関係者	諸々経費の高騰等で、上向き状況の継続は期待出来ないと思う。	
	求人开拓員	正社員の求人は、以前からあまり増えていないため、今後も景気が良くなるほどの状況にはなっていないと思う。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	早朝、10%引きとかポイント5倍などの折には、お客様はこれまで以上に敏感になっているような気がします。
		コンビニエンスストア	日常で消費していく物の物価が上昇傾向にあり、買い控えは起こるのではないかと思います。
		衣料品販売店	良くなる理由が見当たらない。
		日本料理店	少子高齢化が進行して生産能力が低下し、希望的にも良くなる要素は見当たらない。
		飲食業	3か月先を11月として、年中行事の多くなる12月前なので、控えめな消費動向になると予想します。
		和食レストラン	3か月先の12月は、忘年会のシーズンのため来客の増加が予測されるけれど、それは季節的なことである。ここ最近では、前年比100%を超えることはとても難しく、宴会利用も減っているため、今後もこの状況は続くと思われる。
		タクシー会社	今後もタクシー利用客の減少は、ますます厳しい状況にある。また、乗務員の高齢化等が進み、売上減少が予想される。
		タクシー運転手	特に良くなる状況は見られないので、景気は現状より悪くなると思う。
		理・美容店	野菜等が高くなって、消費税増税がじわじわときている感じがする。
		企業	製造業（食料品）
製造業（印刷・同関連業）	為替の変動円安に伴い、紙等の値上げが予想され、製品価格に反映出来ないとする、経営が一段と厳しくなる。		
製造業（化学工業）	例年、季節要因で12～2月はエレクトロニクス関連業界の受注が下がる傾向がある。		
建設業	大都市では景気は良いが、地方都市では悪くなる一方です。		
悪くなっている	家計	製茶販売	お米の値段も暴落、少子化のせい、食の質が変わったせい、お茶を飲む方が全国的に減っている。ファーストフードの食事で慣れた子供が親になり、また子供に同じような食事やそれより簡単な食事を与えている。自宅で作る方がずっと安上がりなのに、なぜ外食やレトルトが人気なのか？外食も安価なものにしかお客様は行かない。安全な食事といえるのか不安。そんなものしか食べていない人たちに意欲を感じない。
		旅行代理店	現在の物価高で、苦しい方が多い。今後、TPPで海外からは安い物が入荷するだろうが、体に良い物とは限らない。国内の物は値上げされるだろう。益々、生活が厳しくなるだろう。貧富の差が大きくなるかもという声が多い。原油高と野菜高が影響している。
		クリーニング店	冬のボーナスに期待したいですが、今まで悪かった分、出費が多くなるとは思えない。財布のひもは相変わらず厳しいと思う。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	マスコミ等で報じられるアベノミクス景気は、到底本当とは思えない。しかも、増税に加え、物価上昇が広範囲になってきている。小規模事業者にとっては、存亡の危機を迎えるかもしれない。
	雇用	人材派遣業	求人(仕事)が、多くなったり少なくなったり、色々大変です。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	ネットによる商品購入比率が高くなっている。
	スーパー	少し高くても、手作り・良い品物・おいしいものは売れる。
	スーパー	雇用状況はかなり難しくなっている。時給の高い・安いの問題ではなく、志向の問題か?小売業・サービス業は厳しい時期となる。
	衣料品販売店	今持っている物を、直して使用しているのが多く、新しい物は買わない。
	小売業（弁当・惣菜店）	春頃の予測で不安視されていたエルニーニョの発生時期がずれたことで、冷夏にはならず、米の作況指数も良い方向が見込まれる。ただ、価格が下がることの影響がどのように出るかは未知数だが、今までの不景気感により値上げができなかった品の収益率が上がるのではないかと期待している。
	小売業（時計）	（他地区からの）来街者は季節的に増加しているが、当方のような業種の売上げには寄与しない。
	スナック	車をエコカーに乗り換える人が増えている。
	中国料理店	今年は、連休中よりも、その前後で外食をされる方が多い気がします。出かける機会が増えているほど、景気が上がっていると思うので、期待しています。
	食堂	車の修理店が車検の時期になると、何人もの人たちが来ます。誰もが今に耐えて、頑張って一日一日を生活しているようです。大工さんは大変なので、食事代もない。食べなくてはダメなので、食事代は後払い。電気代も払えない。今は4人の人たちを面倒見えています。
	観光型ホテル	ガソリン高騰が続いているため、車での外出を控えるお客様がでないといいが、と同業者同士で話している。
	タクシー運転手	物価が値上がり気味だ。
	タクシー運転手	最近、港湾関係者の仕事が増えつつあります。企業の設備投資によるものだと思いますが、プラス公共事業等も増えれば良いと思っています。
	タクシー運転手	この間、大手スーパーに行ったら、来年度小学校入学1年生用のランドセルが販売されていた。もう4月～5月のゴールデンウィークには新タイプが発売されるそう。買主は主に、おじいさん・おばあさんで、孫に入学祝いとして購入するらしい。帰省の折にそんな話になるのだろう。当方にはまだ孫はいないので先になる話ではあるが、その値段は5～6万円。高級品は10万円以上のももあるそう。その時になれば、孫に6年間惨めな思いをさせまいと、ビニール製とはいかないだろう。少子化傾向で、1人に対して金をかける度合いが高くなり、こんなところにも影響が出ているのかと思う。大した収入もないので、近い将来の多額の出費が余儀なくされることに憂慮する。
	ドライブイン	客単価は相変わらず低いです。
	レジャー施設	本年4月以降、売上げ及び諸施設の利用者数とも、8月まで5か月連続で前年を下回っている状況です。依然として、県北地域の景気は厳しいと実感しております。
	ゴルフ場	最近、パチンコ・競馬などのギャンブルに関しての話を、よく耳にすることが多くなった気がする。
ゴルフ場	今年のお盆の来場実績は、前年比90%。一般消費の落ち込みとファミリーサービス志向の表れとの声が聞かれる。異常気象で、ナス・キュウリ等50%高騰の影響が心配材料。	
ゴルフ場	ETC割引がなくなった（変更になった）ために、高速道路を利用して来られるお客様が減少している。	
企業	林業関係者	変動的な動き（変化）が見られない。
	製造業（電気機械器具）	ガソリンの値段が高い。仕入れが下がっても、円安のため値段が高止まりしている。
	製造業（電気機械器具）	税率の引き上げのうえ、物価も高騰しており、一般的に生活が苦しい状態がしばらく続きそうだとと思われる。
	製造業（電気機械器具）	家電関連の企業に従業員増員の動きがある。
	製造業（輸送用機械器具）	新政府は、地方を活性化する政策を重点的に実施していくとのコメントを打ち出したが、その内容や実行される時期に、国民の景気好転の期待が集まっていると思うので、動向を注視したい。
	製造業（精密機器）	さらに空洞化が進み、仕事は減っていくと思います。対策を急ぐと同時に、新規で何かをやらないと難しいと思います。来年はかなりひどくなると思っています。
	金融業	福島原発の保守等に携わっている業者は安定した受注を有すが、それ以外の業者については、先行きが不透明であり、好転する材料も今のところ見つからない。日立以北の北茨城まで同様の環境にあり、先行きが不透明である。
	不動産業	不動産関連業務全般について、顧客の絶対数が少なくなっている。
雇用	求人広告	建設業界は忙しいようだが、サービス業・小売業は増税の影響もあり、厳しい面もあるように思う。
	公共職業安定所	海外の生産シフトにより、国内における生産量減少が懸念されると同時に、雇用への影響も懸念される。
	学校就業関係者	建設業の求人は増えてきている。
	求人開拓員	内職の募集が出てくるが、工場が内職で対応しているということは、いかにコストを下げて利益確保していくか、ということである（仕事を断ると、次がないので頑張っている）。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
	商店街代表者	都内などは、オリンピック開催による需要が出始めているとのこと。まだまだ限定的だと思いますが、何とか地方にまで波及してほしいと期待しています。
	商店街代表者	最近、ネットと通販での購入が増えているのが顕著に表れております。来店するお客様で、購入するための来店ではなく、「ネットで購入したが、この印鑑の素材は何か教えてほしい」。返答すると「わかればそれでいい」。「ネットで購入したが、使い方がわからない・インクの補充がわからない・壊れたのでどこに修理に出せばよいのか・修理してほしい」と製品を持ち込むお客様。「ネット・通販で検索したいが、ネット価格よりお宅が安ければ購入したい」「ネット・通販で検索したら、少量のため送料がかかるので取り寄せてほしい」と、ほぼ毎日のように問い合わせの電話、来店が多い。近所の損害保険会社が9月1日に合併して、水戸市にも2社の支店があるが、支店で使用する社名変更する物(印刷物、正社員の挨拶用名刺等)のほとんどが、東京にある本部で購入して地方現地調達はなかった。本部で調達に間に合わない困った品の至急調達が当店にあり、8月28日頃、「発注忘れたので、9月1日朝までに何とかしてほしい」との無茶ぶりの問い合わせがあった。これは、ほんの一例です。近年の企業の体制の多くが、リストラ、経費削減があり、地方都市が厳しいのは、現地支店や現地営業所での物品購入がなく、本部や本社での一括購入により、地方の経済効果が生まれなくなっているためです。
	百貨店, 総合スーパー	ほとんどのお客様が、購入する前によく考え、自分の予算に合わせて買い物をしている。本体価格表示だと、複数購入の際、総額いくら払えば良いのか分かりづらく、単品買いになったり、総額を聞いた後購入個数を減らしたりという動きもある。
	スーパー	中国などからの輸入食材をはじめとして、安心・安全への関心が高まっている。最終的には商品のコストへ反映し、高くなっていくと思われる。地域イベントなどが積極的に開催されており、交流が盛んになってきている。
	スーパー	購買意欲の二極化が進んでいるような気がする。価格訴求だけでなく、ちょっと良い物も売れている。
	スーパー	キャンピングカーの販売・修理をやっている人が、忙しくて、景気が良くなってきているのを実感しているとのことだ。
	コンビニエンスストア	メディアで、12月前後に来年度の更なる消費税増税の話題が取り上げられており、それに対して更に節約意識が高まっているように感じます。
	コンビニエンスストア	値引きセールでは販売効果が出なくなっており、質の高さを求める傾向が強くなってきている。
	自動車販売店	自動車保険の毎年の値上がりで、クルマ離れを加速させている。高速料金の値上げは誰もが不満を言っている。
	農産物直売所	来場者の車ナンバーチェック時に、エコカー以外の車も多くなった気がする(レガシー、インプレッサの4WD)。
	レストラン	ホテルとして、県外のお客様のご利用が減少していると感じます。
家計	割烹料理店	数年前は、ゴルフ帰りに軽く1杯、と立ち寄ってくれ、ついにと、うちでお出ししている茨城のお米を買って帰られる県外のお客様が数組おられたのですが、最近はないです。先日久しぶりに店に来られた時、「茨城の農産物は大丈夫なのかい?」と言われ、まだ震災の影響があるようです。
	都市型ホテル	茨城県で開催される大会(総文際や合唱コンクール)などがあり、宿泊施設にとってはありがたい事が増えています。今後色々な大会・イベント等を誘致して頂きたいと思います。
	観光型ホテル	旅行需要は旺盛だと思うが、付帯消費はかなり節約型になってきている。
	旅行代理店	7月からバス料金改定があり、大幅な値上げとなっている。
	旅行会社	大雨の影響で、食品の中でも野菜が高くなっていますね。とても家計が大変です。
	タクシー運転手	大企業に勤めている人は、物価が上がったり、また、消費税が5%~8%、そして10%になるのが、あまり影響がないと思われず。政府はあらゆる理由をつけて物価を上昇させようとしています。中小企業の多い日本では、給料の上昇は今のところ考えられないです。大企業からの献金があるからと言って、大企業優先の政治はまっぴらです。
	タクシー運転手	物価の上昇率が賃金の上昇率を上回っているため、我々の生活は非常に厳しくなっていると云わざるを得ない。
	タクシー会社	以前より、昼間の水戸駅構内のお客様が減少しているように思う(搬送の回数より)。また、高齢者が通院でタクシーを利用する回数も減少している。
	タクシー会社	日々ご乗車されているお客様より、「最近食料品が高くて、何もかも値上がりしているような気がしています。タクシー料金も値上がりして、バスや電車を利用するようになりました。家を出る機会も減少しています。そのうえ、消費税が上がる事を考えると、無駄な物は買わずに、我慢できることは我慢して貯蓄しなくては、と考えています。」と貴重なご意見をいただきました。
	観光名所	将来10%へと消費税が増税するかもという不安から、また、今のうちに消費しておこうという傾向から、貯蓄及びその資産を投資する傾向にあるように感じる。銀行等が行っている資産運用のセミナー等に、多くの人が集まるのがその表れではないか。
	レジャー施設	消費税増税分の値上げをしたが、物販の売上は順調な伸びを示している。しかし、飲食の売上が伸びない。外食については、飲物も含め控える傾向が見られる。
	ゴルフ場	大洗海水浴場の利用者も、最盛期の60%程度にとどまっているとのこと。やはり風評被害は続いていると考えてしまう。
	スパ・銭湯	売上金の精査で、1,000円札が多くなっているのは不景気なのかなと思います。
	理・美容店	40代からのお客様は、白髪を染める回数が多くなった割には、来店サイクルはさほど変わらない。3度に1度は自分で染めているようである。
	理・美容店	来年消費税10%がどのように影響するか心配です。
住宅販売会社	消費税10%前の様子見なのか、動きが止まっているようだ。	

企業	製造業(食料品)	ガソリン価格は、1リットルあたり1～2円下がったけれど、きゅうりは1本100円もする。消費は伸びない。
	製造業(印刷・同関連業)	代理店の支払いサイトが長くなったり、分割支払いが目立つようになってきた。
	製造業(窯業・土石製品)	何となく仕事の量が増えそうな感じはするが、受注に至らず先行きがまだ見えない。
	製造業(一般機械器具)	当社、ものづくり補助金のほか、円高・エネルギー制約対策のための先端設備等投資促進事業費補助金で、新しい機械を導入することができました。補助金以外の支払いは借入れです。返す事ができるよう良くなってほしいと思います。
	製造業(精密機械器具)	業界のコラボなど、規模の大小はありますが、活発な動きが感じられます。
	建設業	生活必需品の他に対し、購買意欲が薄れているようだ。
	運輸業(道路貨物運送業)	企業が必要以上の在庫を持たない。
	金融業	水戸商店街と地域雑誌とのタイアップによる企画「ランチパスポート」(500円で1,200円～1,500円のものを食べられる)が普及しつつあり、参加飲食店の売上げ増加につながっている。
	不動産業	アパートの建築など、土地を有効活用している方が増えている感じがします。
	情報通信業(情報サービス業)	全国各地の観光地の様子を聞くにつけ、昨今の本県観光の影が薄く残念に感じている。本県の持ち味である自然と歴史を生かした観光を、一層強化出来ないものか。年間を通じて見込める集客は、各市街地における景気浮揚施策の一つと考える。
サービス業(コンサルタント業)	大きく変わりはないように思う。	
雇用	求人広告	消費税増税以降、物価が上がり使えるお金が減った。
	公共職業安定所	特に、建設業・介護事業・警備業等の人手不足・採用困難は慢性化しており、賃金等労働条件の見直しを図ってみても求職者の動きは鈍く、在職者の労働条件悪化、受注等にも大きく影響を及ぼしている。国内広範囲に店舗を持つ小売業の大量求人も目立つ。
	学校就業関係者	企業側がインターンシップに力を入れている状況が見受けられる。企業が収益を上げることよりも、人材へ目を向けるゆとりが生まれてきているように思う。企業にゆとりが出来れば、その分プラス面も出てくるので、経済的には上向きになっていくように思う。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	物価上昇により所得が目減りし、消費意欲が感じられない。地方の景気浮揚はほど遠い。
	スーパー	肉とか野菜がこのところ高いので、買い上げ点数が良くない。使うお金が変わらないです。前は肉とか野菜が高いと売上が伸びたのですが。
	スーパー	衣料品と雑貨品などが、前年に対して5%くらい悪い。食料品は前年と同じくらい。しかし、その他の衣料・雑貨・ゲームコーナーなどの来客が大きく落ち込んでいる。
	コンビニエンスストア	景気が悪いという話は、製造・小売・建設などの業種の方からは聞こえませんが、節約、無駄な物は買わない、品質重視の買い物をされる方が増えている状況です。
	コンビニエンスストア	パート・アルバイトの応募者が少ないように思えます。就職先などが、いくらか以前より決まりやすくなっている様子。企業レベルでは景気が良くなってきている。
	家電販売店	周りに新店舗の建設が何件かみられます。活性化の為に良い傾向です。飲食店が増えた。
	自動車販売店	鹿島工業地帯の会社の中で、撤退及び縮小の話がみられる。震災の復興作業等が終了して、土木関係の仕事が無いように思う。
	小売業（菓子類）	消費税8%には、お客に慣れが見えるようになったが、10%は心配である。
	小売業（食品）	放射能の心配も少なくなり、大手スーパーの扱い（取引）も出てきた。
	精肉店	客数が少し増えている。
	洋食食堂	天候が不順で、特に8月の書き入れ時が不振だった。生ビールは平年の6割の売上となった。唯一、4月からの新メニューでお値打ちの商品”だけ”は特別売れた（約320食）。更地も増えたが、新しい住宅も増えたかな？と思う。
	日本料理店	お客様の人数は変わっていないが、単価はかなり落ちているように思います。
	タクシー運転手	9月1～3日は鹿島神宮神幸祭で、今年12年祭（御船祭）となり、人の出入りを多く感じた。そのため、特に観光と文化による消費者景気向上も必要と感じた。
	企業	スーパー銭湯
理・美容店		高く良いものほどよく売れる。高くても良い物が買えないから、あきらめて安いほうを買う。
クリーニング店		米を作るのにも、値段が安いので、土地を借りて作っている人が地主に返すことが増えている。地主さんも、田が荒れてしまっは困るので、借地料はもらわない。土地改良にと。水道代も、地主さんが払うことを検討している動きがある。また、田んぼを太陽光に、と考えている人もいます。
住宅販売会社		来年度の増税が決定してから、また大きな動きがありそうだ。
農業関係者		昨年と比較すると、日頃買う物を控えるようになっている。
製造業（食料品）		通常的生活感が良くない。
製造業（食料品）		為替が円安方向に振れつつあり、冷凍魚の輸出向けが伸張すると、更なる原材料高が予想される。
製造業（電気機械器具）		土木や建築資材などは好調のように見受けられるが、製造業では差がはっきりしている。
製造業（化学工業）		エネルギー使用量をいかに減らすか。更なるコストダウンへの取り組みが求められている。
建設業		労働力不足に關しての対策が取られていますが、直接現場に反映されるのはまだまだ先の感じがします。労働力不足が緩和されれば、建設業界の景気もよくなるのではと思われますが…。
建設業		空き地、または畑や山林などで、太陽光発電設備の設置が多く見られます。すごい数です。
雇用	運輸業（道路貨物運送業）	銚田市の、全国初のメロン自動糖度測定機等は素晴らしいアイデアであると思う。茨城の常陸牛、日本酒等、今後とも大いに売り込める商品であると思っている。
	内装工事業	政府はデフレになるように目指しているが、受注単価は底なし沼からはい上がれないくらいもがき苦しんでいる。
	サービス業	顧客からの業務依頼問い合わせは過去最高クラスであり、製造業（とくに自動車を中心とする機械工業系）は好景気感があるものの、プラント設備関係など化学系分野の問い合わせ減少等、業界ごとのばらつきは非常に大きいと感じる。
民間職業紹介業	日本人の労働者が不足している現状を考えると、もっと外国人の就労できる法整備をしていかなければならないと考える。外国人技能実習制度の早急な改定により、就労できる職種や人数の緩和拡大を図ることや、その他外国人の入国ビザの見直しなどにより、就労機会の拡大を図ることも検討してほしい考えるものである。	
求人開拓員	今年は米の在庫過剰により、米の買い上げ価格が安くなりそうであり、生産農家の消費にも影響が出そうである。	

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	ハレの日の贅沢を楽しむための支出は惜しまない傾向。依然として特価品、特に卵・米・飲料などへの関心も高い。
	コンビニエンスストア	お金を貯めるのではなく、消費傾向にある友人が多い。
	小売業（食品・酒類）	良いところは都市部の一極集中のような気がする。
	小売業（生花店）	土浦市役所移転に伴い、以前より地価は多少上昇しているように見えるが、実際は投資目的と思われる売買が多いようで、空き地がそのままに放置されている。ただし、市役所予定地のソリッドタワーの中古空き室は急に減少しており、市役所移転に伴う賃貸物件(事務所)需要が増加しているように感じます。
	ガソリンスタンド	アルバイトの採用が思うように進まない。
	和食食堂	客単価が下がってきていることから、安いもの思考になっていると思います。
	洋食食堂	他の業種さんが、みんな昨年より売上げが落ちている。消費税が上がった5～6月までは変わらなかったが、今は影響が出ているのでは。
	都市型ホテル	法人需要は、宴会開催も予算や開催見直しなど厳しい状況となり、以前からあまり景気に左右されなかったと思われる企業(医療関係)も予算抑えに入ってきている。その他、接待含めた交際費の抑えもあり、個室の利用減もある。
	タクシー運転手	駅周辺が開発されてきたので、職人さんやメーカーの方の利用が増えるかも、と期待しています。
	タクシー運転手	飲食店でランチの際、割高な単品メニューを注文する人が目立つ。
	タクシー運転手	土浦駅西口の旧イトヨーカドービルに移転予定の土浦市役所が、当初より大幅遅れになりそう。
	ゴルフ場	今秋は、高級食材（まつたけ等）が豊作で、本来安いキャベツや白菜などが不作になっていると聞く。食はみんなの一番の楽しみの1つなので、毎日食卓に上るものが高価となるのは厳しい。
	パチンコ店	1年を通して日に日に悪くなっている感があり、業界の状況も含め、良くなる様子が全く感じられない。
	ボウリング場	小企業従事者や個人事業主の話に、楽観的な面がうかがえないため、先行きは曇りかも。
理・美容店	テレビなどでは、セレブな人の生活などを特集したりしているが、一般の人は良くはなっていないと思う。人手が足りないという話だが、テレビやメディアにあおられているだけで、たいして景気は良くはなっていないのだろう。	
住宅販売会社	いかに良い土地を仕入れるかが、生き残り策となってきた。	
企業	製造業（家具・装備品）	大型店が増えてきています。小規模の経営はますます成り立たなくなっていく。先日も、商店街ではケーキ屋さんが閉店しました。
	製造業（窯業・土石製品）	当社は、公共事業、いわゆる官需が大半を占めておりますが、発注が集中して工事が一度に重なり、資材や人手のやりくりになり、工期が半年・1年遅れはよく聞きます。また、官需の影響で、民間の工事がスムーズに施行出来ないとの話もよく聞きます。内閣改造で地方創生相が誕生しましたが、無駄な公共事業の大盤振る舞いにならないかと思えます。
	製造業（窯業・土石製品）	大型店舗の新設など、民間の設備投資が増えてきた。
	製造業（非鉄金属）	円安により、納品先の業績は良好。
	建設業	70歳代後半、80歳過ぎの初代経営者（オーナー）の死去が、7・8・9月に特に多く見られました。オーナー社長たちのいずれも共通したところは、朝早く4～5時起床、夜10～11時30分頃まで黙々と働きずくめ、人当たりも良く、不動産物件もそれなりに確保。安定・安心経営に尽力されている。もちろん、取引先も多く、吊問客も多い（1,500～2,500人）。びっくりする。花輪も200～300基。この多くは、生花・食料・弁当業界にも恩恵をもたらす。死者の生前中の業績・功績が、景気の後押しをする結果にもなる。
	建設業	職人不足と高齢化のため、応援の職人や下請を頼んでも、なかなか都合がつかなくなったりしている。現状の人手で、なんとか工事をこなしていくのが無難のようだ。その意味では、仕事を選ぶことも1つの手段だと思う。
	建設業	中型案件（アパート、福祉施設）の物件数、割合が増えている。
	建設業	社員募集で、多少応募し入社しますが、1日で飽きてしまいます。若い方はゆとりがあるのか、仕事を選びすぎる傾向があるようです。
	金融業	税金未納による税務署等からの調査依頼が、依然として多い状況にある。
不動産業	旧市街とTX沿い（ひたち野うしくIC等）の新市街地との格差が年々広がっております。インフラ整備の有無と、住民感情などに年齢層の違いが出ており、街も人間も年を取ってくると、若い人が街に入っていないという状況が一番の原因と思われます。	
雇用	人材派遣業	大手企業での景気も、極端な増産は見受けられないため、中小企業も同様な状況かと思われる。
	求人開拓員	IT関連の会社が、採用に意欲的というか、ハードルを下げてきている。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	地元の花火大会があり、例年より遠方からの車ナンバーが多かったようだ。大きな荷物やリュックを背負った人が目立った。食べ物や飲み物は、現地で買わずに家から持ってきているようだ。いかにお金を使わなくなったか。
	商店街代表者	天候不順で野菜の高騰が続きます。当店の製造部門は、かと言って商品代は上げられず苦慮しております。当店は駅ビルに出店していますが、隣の青果店が安売りする日はレジが長蛇の列です。やはり安さは一番の魅力なのですね。
	スーパー	盆商材（ギフト＝盆参り）ですが、昨年は1,000円から2,000円でしたが、今年は1,000円から1,500円が中心で、その限りでは全体的には不景気感も感じられます。
	製茶販売	今の若者に向上心を感じません。
	和食食堂	8月末の天候の悪さは、大いに景気に影響したように思います。
	日本料理店	全国的に街の中心地は衰退し、大型スーパー・コンビニ等が活況を呈している。政府が本気になって中小零細企業の救済を考えなければ、今話題になっている消滅都市は早くなってくると思われる。
	飲食業	最近、市内に多店舗展開する飲食店ができて、集客力の弱い個人店は苦戦を強いられています。
	都市型ホテル	特に今のところ動きは見られないが、良い方向に向かってくれることを祈っている。
	ビジネスホテル	新しい商業施設ができる、ゴルフの大会が開催される（今年度のみ）、企業のメンテナンス工事が始まる、等々、例年になく事業が見込まれている。
	旅行代理店	街の中の小売店ではお客がいない。駅前通りもさみしい。空洞化だろうか。街の活性化としての催物を、たくさん開くようにできたら良いと思う。安い物をたくさん売り出すなど、楽しく元気が出るのが活性の源ですね！私達も参加したい。待っている時代は過ぎた。攻めていく商売をしたい。
	タクシー運転手	飲食店などの店じまいが特に多いように思う。
	ドライブイン	増税前に、新築住宅の建設が目立っていたが、最近もどンドン新しい住宅や店舗が出ていて、通るたびに景色が変わっている。
	ドライブイン	夏場の天候不順による、季節商品、野菜の作柄不良等の要因があり、景気が落ち込んだとの一部意見があるが、地方経済はそれ以前から景気の改善は見られておらず、消費税10%引上げの判断が今年中になされるが、引き上げられた場合、地方経済は更なる落ち込みが考えられる。
	企業	ゴルフ場
ゲームセンター		競合店舗が閉店したため、お客様の来店人数は増えていますが、来店人数の伸び率ほどには売上げが上がっていません。まだまだ景気が良くなっているとは感じられません。
建築設計事務所		建設業の見積金額が強気であり、態度にも表れている。また世間から相手にされなくなるのが怖い。
農業関係者		農家生産者は、今後の米の価格や政府が出す政策を大変気にしている。
製造業（印刷・関連業）		資本主義・自由主義・民主主義の日本ですが、頑張る人と頑張らない人。きちんと目的を持って生きている人とそうでない人。何事にも権利と義務があることを無視している人。そして、今更ではあります。貧富の差がはっきりしてきましたね。かつて、中流以上と思っていた人が70%以上であった日本が、一番世の中も安定し皆が幸せだった。皆で良い日本にしたいですね。
製造業（印刷・関連業）		資材等の値上がり、基盤部品等の製造中止といった、事業展開そのものに影響する状況が広がっている。そして、それらのためか、製造原価の上昇にも関わらず、価格の引下げ圧力が官公庁を中心にますます激しくなっている。業界だけではなく、地元の小規模事業者が廃業に向かっている。若い人から、魅力や将来がないとの声がますます大きく、それを官公庁が推進しているとの声さえある。
製造業（窯業・土石製品）		アベノミクス効果を実感できない地方では、いまだ価格競争から抜け出せず、コスト上昇分を転嫁出来ないでいる。
製造業（窯業・土石製品）		私の従兄弟の子どもさんが、欧風食堂を今年7月末に新規開業をしたのですが、連日連夜、お客様でいっぱいだそうです。だから、同じ業種でもやり方次第で、片や廃業、片や活況。商売とは面白いもので、そこに商売の醍醐味がありますね。しかし、繁盛していてもはっきりした理由はないかもしれませんが、お客様が入らないのは明確な理由がありますね。
建設業		元気のある会社は伸びているが、それは一部であって、ほとんどが衰退傾向だと思ふ。
金融業		引き続き、遊休地活用として太陽光事業を始める方や、追加拡大される方が多い。
不動産業	賃貸住宅から購入希望者が増加。	
サービス業（コンサルタント業）	今後も大きな変化はないように感じます。新聞やマスコミでの報道は、一部の良い所のみを取り上げての報道であって、我々の身近なところでは、報道のような景況感など全く感じられない。	
雇用	求人広告	採用や設備投資に回す費用を増額している企業が多いように感じる。少し前まではその費用を削減し、我慢する企業が多いように感じた。その我慢が限界にきていて、将来に投資をしている動きが見られる。
	公共職業安定所	人材が流動化しやすい外食産業にも、人材不足の波が押し寄せ、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業で求人が増加している。どの企業も、来年度以降の人事計画構成を考え、特にこの時期は新規学校卒業者の採用活動に旺盛。
	学校就職関係者	技術職への求人が、人手不足の影響が賃金の改善が多くみられる。ガス溶接技能講習や、フォークリフト運転技能講習の受講希望者が多く、応募が定員の2倍以上になっている。
	求人開拓員	戸建て住宅の売行きが目立つ。